

第七十四回帝國議會 衆議院 職員健康保險法案委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
健康保險法中改正法律案(政府提出)
所得稅法中改正法律案(塚本重藏君提出)
健康保險法中改正法律案(三輪壽壯君外二名提出)

會議

昭和十四年三月二十日(月曜日)午前十一時

開議

出席委員左ノ如シ

委員長 眞鍋 勝君

理事中崎 俊秀君 理事成島 勇君

理事小串 清一君 理事泉 國三郎君

高木泰太郎君 本田彌市郎君

土屋清三郎君 南 鼎三君

田子 一民君 濱地 文平君

野方 次郎君 太田 理一君

永山 忠則君 山崎 常吉君

塚本 重藏君 道家齊一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

厚生大臣 廣瀨 久忠君

出席政府委員左ノ如シ

厚生政務次官 津崎 尙武君

厚生參與官 綾部健太郎君

厚生省衛生局長 林 信夫君

厚生書記官 內藤 寬一君

保險院長官 進藤 誠一君

保險院總務局長 佐藤 基君

保險院社會保險局長 清水 玄君

保險院簡易保險局長 藤川 靖君

保險院書記官 川村 秀文君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

健康保險法中改正法律案(政府提出)

所得稅法中改正法律案(塚本重藏君提出)

健康保險法中改正法律案(三輪壽壯君外二名提出)

眞鍋委員長 ソレデハ開會致シマス、大

臣ガ御見エニナツテ居リマセヌカラ、事務

的ノ方カラ片付ケタイト思ヒマス、塚本君

此ノ前ノ續ヲ御願致シマス

○塚本委員 先日ノ續ヲ今少シ質問致シタ

イト思ヒマスガ、此ノ前政府委員ノ答辯ニ

依リマシテ被保險者ノ世帯員ガ治療ヲ受ケ

タ場合ニ於キマスル其ノ治療費ノ支拂ノ方

法ニ付テ、モウ少シ具體的ニ承リタイノデ

アリマス、是ハ普段カラ掛ケテ居ルノデハ

アリマセヌカラ、勢ヒ醫者ニ掛ツタ場合ニ

其ノ半額ヲ負擔スルコトニナルノデア

ルガ、ソレハ醫者ニ拂ツタ其ノ領收書デモ持

ツテ保險組合ナリ、或ハ政府ノ保險取扱所

ニ行ツテ、其ノ半額ヲ請求スルコトニナル

ノカ其ノ組合所管ノ場合ハドウナルノデア

ルカ、政府所管ノ場合ハドウナルノデア

カ、モウ少シ吞込メルヤウニ御示シテ願ヒ

タイ、實際ノ場合ニ於テ病氣ニ罹ツタ、醫

者ニ行ツタ、其ノ料金ハドウ云フ順序ヲ以

テ取極メラレルモノデアルカ、ドウ云フ風

ニ支拂ハレルモノデアルカ伺ヒタイ

○清水政府委員 只今ノ點ハ大體豫定致シ

テ居ル所ヲ申上ゲマス、健康保險組合

ニ付キマシテハ是ハ組合ノ任意ニ致シタイ

ト思ツテ居リマス、政府ノ分ニ付キマシテ

ハ大體世帯員ガ病氣ニナリマシテ、醫者ニ

掛レルヤウナ組織ヲ考ヘルノデアリマス

ガ、ソレハ大體今ノ所デハ日本醫師會ト相

談ヲシマシテ、現在アリマス保險醫ニ掛レ

ルヤウニシタイト思ツテ居リマス、サウシ

テ被保險者ハ其ノ保險醫ニ對シテ支拂ノ療

養費ノ領收受取ノ委任狀ヲ出シマシテ、オ

醫者サンガ委任狀ヲ持ツテ政府ノ方ヘ支拂

ヲ要求スルト、金ハ政府カラオ醫者サンノ

方ヘ拂フ、半額ノ部分ハ是ハ直接自分ノ負

擔デアリマスカラ、世帯員ノ方デオ醫者サ

ンノ方ヘ拂フ、斯ウ云フコトニナルノデア

テハ、一應ノ總テノ治療費ノ標準——藥一

劑ハ幾ラ、手術一回ハ幾ラト云フヤウナ大

體ノ協定ヲ、醫師會ノ方ト致シテ置ク積リ

デアリマス、デアリマスカラ此ノ世帯員ガ

醫者ニ掛リマス場合ニハ、大體半分ハ此ノ

位ノ金ヲ拂ヘバ宜シイト云フコトガ分ル譯

デアリマス、残り半分ハ保險者ガ直接オ醫

者サンニ拂フ、斯ウ云フコトニナル譯デア

リマス、ソレカラ尙ホ此ノ保險醫ニナツテ

居ナイ醫者ニ掛リタイノニハ、是ハ直接政

府ノ承認ヲ受ケテ掛レルヤウニシマシテ、

其ノ場合ニハ勿論其ノ醫者ニハ協定ハナイ

譯デアリマスカラ、隨テ政府ノ方カラ補給

金トシテ直接被保險者ニ交付シマス金ハ、

實際ノ治療ノ半額ニハ當ライ場合モアル

カモ知レヌヤウニナリマス

○塚本委員 大體分ツテ參リマシタガ、次

ニ此ノ第一條ノ第二項ノ「補給金ヲ受クル事

故發生ノ日前引續キ一年以上被保險者タル

者ニ付其ノ世帯員ノ入院診療費ニ一回十圓

以上ノ處置及手術ニ要スル費用ノ二分ノ一

トアリマスガ、是ハ入院シタ場合ニモ大體

行ツテ藥ヲ貰ツテ來タ、診テ貰ツテ來タ其ノ診察料ト云フヤウナモノモ、二分ノ一ト云フ風ニ解釋シテ宜イト思ヒマスガ、其ノ次ノ一回十圓以上ノ處置及手術ニ要スル費用ノ二分ノ一トアル、此ノ一回十圓以上ノ處置及手術ヲ受ケタモノニ付テハ、二分ノ一ノ補給金ハ貰ヘナイノデスカ、其處ヲ承リタイト思ヒマス

○清水政府委員 ソレハ貰ヘナイ譯デアリマス、大體相當ノ金ヲ要スルモノヲ補給シヨウ、極ク僅カノモノハ是ハソコマデ保險經濟ガ餘裕ガアリマセヌカラ、ソレハ自辨デ治療スル、斯ウ云フ建前デス

○塚本委員 ソコデ私ハ疑問ガ起ツテ來ルノデアリマスガ、多分サウ云フコトカラ來テ居ルノダラウト思ヒマスガ、サウシマスト、上ノ世帯員ノ入院診療ト云フノハ入院シタ場合ノ診療ダケニ限ルノカ、風ヲ引イタトカ何ト云フノデ二三日醫者ニ掛ツタト云フヤウナ簡單ナモノニ對シテハ、補給金ガナイノデアリマセウカ、サウ云フ診療ニ對シテハ補給金ガアルノダト吾々ハ解釋シテ居ツタノデスカ如何デスカ、念ノ爲ニ承リタイ

○清水政府委員 是ハ今ノ御話ノヤウニ入院ダケデアリマス、チヨイ／＼トシタ診療

ニハ補給金ハゴザイマセヌ

○塚本委員 是ハ一般ノ被保險者並ニ被保險者ノ世帯員トシテハ、非常ニ失望ヲ感ズル所デアリマシテ、大體今回改正案ガ出ル、其ノ改正案ニ依ツテ世帯員モ其ノ療養ノ給付ヲ受ケラレルノダト云フ風ニ、吾々ハ考ヘテ居リマシタ、唯入院ノ場合ト、一回十圓以上ノ手術ヲ受ケタ場合ダケニ限ルト云フノデナク、其ノ他例ヘバ輕微ナ疾病ニ依ツテ醫者ニ掛ツタ場合デモ、其ノ經費ノ半分ハ補給シテ貰ヘルノダト云フ風ニ、思ツテ居ツタノデアリマス、皆サウ思ツテ居ルト思ヒマス、實際ニ當ツテ此ノ法案ヲ檢討シテ見マスト、入院シタ場合ダケデ、結局ハ入院シナイ者ニハ補給金ガナイト云フコトニナル、一回十圓以上ノ處置、十圓以上ノ手術ヲ受ケル場合ハ主トシテ入院シテ居ル場合ヲ豫想セラルルト思ヒマスガ、其ノ場合ダケ給付ガアツテ、サウデナイ場合ハ其ノ給付ガナイト云フ結果ニナツテ、非常ニ大キナ失望ヲ感ズルト思フノデスカ、私モ實ハ案ヲ見マシテ、ソコニ幾ラカ疑念ヲ持チマシテ、ソレカラ政府ノ豫算書ナドヲ見マシテ、金ガ少ナイデヤナイカ、ドウシテ此ノ位ノ金デ賄ヒガ出來ルノダラウト疑念ヲ持チマシテ、其ノ點ノ質問ヲ續ケテ行キタ

イ考ヘデ居リマシタガ、今漸ク此ノ點ガ明瞭ニナツタノデアリマシテ、曩ニ申シマシタヤウニ、一般ノ被保險者ヤ其ノ世帯員ト云フモノハ、斯ウ云フ結果ニナラウトハ豫期シテ居ラナカッタト思ヒマス、今デモサウハ考ヘテ居ラナイト思ヒマス、是ハ非常ナ大キナ喜ビヲ與ヘテ、サウシテ又逆ニ大キナ失望ヲ與ヘル結果ニナルト思フノデスカ、モウ少シ何トカ是ハ——入院シナイデモ勿論今日ノ被保險者ニ於キマシテモ、最初ノ三日ニ付テハ休業手當ナドモナイノデアリマスカラ、サウ云フ程度ノ差ハアリマシテモ、相當長ク醫者ニ續イテ掛ラナケレバナラスト云フヤウナ患者モ、澤山アルノデアリマスカラ、ソレハ必ズシモ入院シナクテモ、相當ノ經費ヲ長期ニ亙ツテ繼續支出シナケレバナラス、其ノ事ノ爲ニ生計困難ニ陥ル者ガ澤山アル譯デアリマス、何故其ノ方面ニ對シテ療養ノ給付ヲ爲サラナイノデアリマスカ、此處ニオ醫者サンモ澤山居ラレマスガ、サウ云フヤウナ性質ノ病氣ハ、相當多イノデアリマス、モウ一ツハ、被保險者ニ對シテ結核性疾患ノ者ニ對シマシテハ、一年マデ其ノ療養ノ給付ヲ繼續スルヤウニナツタノデアリマシテ、此ノ點モ實ハ世帯員ニマデ是ガ及ブノダト、私共仲間

ハ感ジテ居ツタノデアリマス、結局是カラ見ルト結核性疾患ニ罹リマシテ、ソレガ入院シマシタ場合ニハ、補給金ガアルケレドモ、入院シナイデ、自宅療養ヲヤツテ居ル場合ニハ補給金ガナイ、左様デアリマスカ、若シサウ云フ自宅療養デモ、長期ニ亙ル色々ナ疾病ガアルノデアリマスカラ、何等カノ條件ノ下ニ於テ、サウ云フ療養者ニモ給與スルト云フヤウナ途ハ講ゼラレナイモノデアリマセウカ、或ハ是ハ御考ニナツタケレドモ、財政上ノ結果カラ實行ニ移ラナカッタノデセウカ、將來ハドウデアリマセウカ、此ノ點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○清水政府委員 御話ノ點ハ實ハ私共ノ方デモ、考究致シテ居ルノデアリマス、先ヅ第一ニ今回提案致シテ居リマス程度ノ給付ノ擴張ハ、現在健康保險特別會計ト致シマシテ、或ル程度ノ餘裕金ガ出來テ居リマス、其ノ餘裕金デ賄フ付ケラレル程度デ、改メテ保險料ヲ増額シテハヤライ、斯ウ云フ考デ、ソレデ一應ノ制限ガ付イタ譯デアリマス、ソレカラモウ一ツハ家族ノ方ニ給付シマスコトハ、色々手續上非常ナ困難ナ點モアリマスシ、ソレカラ又一遍ニ何デモ總テノ病氣ニ對シテ給付スルト云フコトニ付テハ、色々考ヘナケバナラス點モアリマスノデ、

是ハ一ツ漸進主義デ一步々ヤツテ行カウ、現在ノ考ト致シマシテハ、相當重イ病氣デ負擔ノ餘計掛ルモノヲ先ヅ救済スル、ソレカラ研究ノ上、漸ヲ逐ウテ色々ナ病氣ニモ及ボシタイ、斯ウ云フヤウナ考ガアリマシテ、現在トシマシテハ其ノ程度デ已ムヲ得ヌト實ハ考ヘタ譯デアリマス、勿論段々研究ヲ致シマシテ、擴ゲタイトハ考ヘテ居リマスガ、サウシマス先ヅ第一保險料モ上ガナケレバナラヌト云フコトモアリマスノデ、彼此レ考ヘ合セマシテ、現在ハ此ノ程度デ已ムヲ得ヌト考ヘタ譯デアリマス

○塚本委員 大體漸進主義モ結構デアリマスガ、實際問題トシマシテ被保險者ノ世帯員ガ入院ヲシ、處置手術ヲ受ケテ此ノ療養ノ半額給付ヲ受ケルト云フ場合ハ、非常ニ少イノデハナイカト思ヒマス、是ハ所謂急性疾患ヲ主トシマスモノノ一部ノミニ限ラレマシテ、慢性的ナ疾患ニ對シマシテハ、殆ド療養ノ給付ガ及バナイト云フ結果ニナルノデアリマス、併シハ國民ノ生活安定ト云フ立場カラ考ヘマスルト、勿論急性疾患ニ因リマシテ家庭經濟ノ根柢ヲ壞スト云フヤウナコトモアリマスガ、ソレヨリモ惱ンデ居リマスノハ慢性的ナ疾患ニ因ル長期ニ互ル醫療ノ出費デアリマス、是コソ實ニ貧

困ノ原因ノ重要ナル部分ヲ占メテ居ルト思ヒマス、我國貧困ノ原因調等ニ於キマシテモ、サウ云フコトハ厚生省ガ既ニ御承知ノコトダト思フノデアリマシテ、國民ノ生活安定ト云フ建前カラ行キマスナラバ、寧ロ廣イ範圍ニ互ツテ澤山ナ療養ノ給付ヲシテヤラナケレバナラヌ範圍ハ、此ノ他ニ殘サレテ居ルト思フノデアリマス、今ヤ法案ノ成立ヲ一刻モ早ク急イデ居ル場合デアリマシテ、今更之ニ修正ヲ加ヘルト云フヤウナコトモ出來ナイデアリマセウシ、豫算ノ關係上サウ云フコトモ出來ナイデアリマセウガ、是ハ出來ルダケ近イ中ニ、唯入院ノ場合ニ於ケル半額給付ト云フコトダケデナシニ、相當長期ニ互ル所ノ慢性的疾患ニ對シマシテモ、療養ノ給付ヲ致シマスヤウニ、出來ルダケ早イ機會ニ於テ、再ビ改正ニ著手セラレンコトヲ御願シテ已マナイノデアリマス、ソレカラサウ云フ風ニ範圍ガ狭クナツテ來マスカラ、政府ノ方デモ國家負擔金ヲ増サナイデ、餘裕ノアル所カラ其ノ範圍ニ於テ賄ヘル程度ト云フコトデ、此ノ事ヲ考ヘラレタコトハ結構デアリマスガ、其ノ結構ナル考ガ又廣ク全般ニ互ツテ、思ハザル惡イ結果ヲ齎シハセヌカト云フコトヲ私ハ憂ヘマス、先日モ申上ゲマシタヤウニ今

日ノ健康保險ノ醫療ト云フモノハ、所謂粗診粗療ノ誘ヲ免レル譯ニハ行カナイノデアリマス、ソレ故ニ國家負擔金ヲ殖ヤサズ、一般ノ負擔金モ殖ヤサナイ範圍ニ於テ、而モ其ノ範圍ハ極メテ狭イトハ言ヒナガラ、兎ニ角世帯員ノ入院診療ニ回十圓以上ノ處置及ビ手術ニ對シマスル半額ノ給付ヲヤラウトシマスナラバ、相當此ノ方面ニ經費ヲ要スルコトハ言フマデモナイノデアリマス、サウ云フ支出ガ段々殖エテ來マスコトニ依ツテ、雷サヘ今日粗診粗療ノ誘ガアリマスモナガ、更ニ一層粗診粗療ニナツテ來ルヤウナ結果ニナリハシナイカラ、獨リ憂フル者デアリマス、今デサヘ、政府ニ餘裕アリトハ言ヒナガラ、ソレハ十分ナル治療ヲシタ上ニ於ケル餘裕デハナクシテ、サウ云フ風ニ粗診粗療ノ狀態ノ儘ニ置イテオイテノ餘裕デアリマス、其ノ狀態ノ中カラ新シク相當廣イ範圍ニ互ツテ支出ガ増シテ來ルノデアリマスカラ、勢ヒ今日ノ粗診粗療ト云フモノガ、一層其ノ度ヲ加ヘルヤウナ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ、私ハ憂フルノデアリマスガ、其ノ點ニ關スル御所見ハ如何デアリマスカ

○清水政府委員 御話ノ點御同感ダト思ヒマス、吾々トシマシテハ昨日モ御答辯申上

ゲマシタヤウニ、健康保險ノ醫療ノ内容ニ付キマシテハ、目下改善ニ付テ色々調査研究ヲ致シテ居リマス、ソレト相俟チマシテ一方給付ノ範圍ヲ擴ゲテ、他ノ方面ニモ改善ヲ加ヘテ行カウト云フ考デ始メマシタ譯デアリマスガ、モット醫療ノ内容ヲ改善シナケレバナラス、或ハ醫師ニ對スル報酬ヲモツト増サナケレバナラヌト云フコトニナリマスレバ、是ハ又改メテ其ノ方策ヲ考ヘナケレバナラヌコトニナルノデアリマス

○塚本委員 私ハヤハリサウ云フ杞憂ヲ未ダニ深く持ツモノデアリマシテ、サウ云フ結果ニ陷ラナイヤウニ、精々一ツ善處ヲ御願シテ已マナイモノデアリマス、ソレカラ命令要綱ノ第一條ノ第二項ニ關係シマシテ、世帯員ガ入院シ、或ハ處置手術ヲ受ケル場合ニ於キマシテ、此ノ療養ハ保險者ノ承認ヲ受ケ、保險者ノ指定スル醫師又ハ齒科醫師ニ就キ、其ノ治療ヲ受クルモノトスル、但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ此ノ限ニアラズトシテアリマスケレドモ、原則トシテハ此ノ療養ハ保險者ノ承認ヲ受ケテ、保險者ノ指定スル醫師ニ掛ラネバナラス、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ實際問題トシテ、其ノ場合々々ニ保險者ノ承認ヲ受ケルト云フコトハ、實ハ困難デアリマ

セウ、疾病ニ罹ツテ入院シヨウト思ヘバ、此ノ承認ヲシテ呉レ、何處ノ病院ヘ入ツタラ宜イデセウカト云フヤウナコトヲ保險者ニ問合セテ、承認ヲ求メテ入院手術ヲ受ケルト云フヤウナコトハ、是ハ時宜ニ適シナイ方法デアリマシテ、斯ウ云フ場合ヲ考ヘマス、主トシテ是ハ急性疾患ノ場合ガ多イノデアリマスカラ、兎ニ角咄嗟ニ入院シナケレバイカスト云フ場合ガ多カラウト思ヒマス、例ヘバ腸捻轉ヲ起シタトカ云フヤウナ場合デアレバ、是ハ一刻ヲ急イデ入院手術ヲ受ケナケレバナラヌヤウナコトニナルト思ヒマス、サウ云フ場合ト此ノ規定トハドウ云フコトニナリマセウカ、斯ウ云フ規定ヲ嚴守シテ居リマス、實際以上ニ於テハ被保險者ノ世帯ハ困ルコトニナリマスガ、サウ云フ場合ハ實際ハドウ云フコトニナルノデアリマスカ

○清水政府委員 御話ノ中デ保險者ノ指定ヲシテ居ルト云フ意味ハ、丁度今健康保險デ保健所ヲ作ツテ居ルト同ジ意味デ、所謂保險醫ト云フ意味デアリマスガ、入院ノ承認ノコトハヤハリ現在健康保險デモ承認ヲ得ルコトニナツテ居リマスガ、其ノ方法トシマシテハ中間ノ場合トシテ事後ノ承認デモ宜シイシ、緊急ノ場合ハ承認ナクテモ入ッ

テ宜シイト云フコトニナツテ居リマシテ、實際問題トシテハ先ヅ圓滑ニ行ハレテ居ル譯デアリマス、殊ニ世帯ニ付キマシテハ先刻申上ゲマシタヤウニ、世帯ニ對スル療養ノ給付ノ手續ト云フコトヲ考ヘテ見マス、複雑ニナリマスノデ、ソレ等ヲ稍、簡易化シテ、且ツ明確ニスルト云フ意味デ入院ノ承認ト云フコトガドウシテモ必要ニナツテ参リマス、隨テ制度ノ上デハ承認ガ要リマスカ、實際問題ハ今御話ニアリマシタヤウニ、事後承認ノ方法モアリマセウシ、追認ト云フヤウナコトデ實際困ラスヤウニスル考デアリマス

○塚本委員 第一條ノ質疑ハ此ノ程度ニシテ止メマスガ、次ハモウ一ツ被保險者ガ今日粗診粗療ニ次イデ困ツテ居リマス問題ハ醫者ノ選擇ノ問題デアリマス、是ハ言フマデモナク尤ノコトデアリマスガ、政府ハ日本醫師會、日本齒科醫師會、日本藥劑師會等ト契約ヲ結バレマシテ、此ノ保險療養ニ當ラレテ居ルノデアリマスガ、實際問題トシテ私ガ先日私ノ體驗ヲ申上ゲマシタヤウニ、自分ノ信ズル醫者ハ保險醫デナイト云フヤウナコトカラ、保險醫デナイト所ノ醫者ニ掛カル者モ相當アルコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、是ハ何トカシテモウ少シ保險

醫ト云フモノヲ殖ヤス方法ヲ考ヘテ貰ハナケレバ、被保險者トシテハ實際問題トシテハ困ツテ居ルノデアリマス、今日政府ハ日本醫師會ト契約ヲシテ、ソレニ一切ヲ委サレテ居ルノデアリマス、サウシテ又此ノ點ニ付キマシテハ、飽クマデモ日本醫師會ハ今日ノ此ノ契約制度ト云フモノヲ維持シテ行カウト云フコトニ、相當熱心ナ努力ヲ續ケラレテ居ルヤウデアリマスガ、私ハ甚ダ奇怪ニ考ヘテ居リマスコトハ、サウ云フ風ニ日本醫師會ハ政府ニ向ヒマシテ、是マデ此ノ所謂契約制度ト云フモノヲ引續キ繼續スルヤウニト云フ御意思ノヤウデアリマスルガ、實際サウ云フ風ニ強硬ニ政府ニ迫ツテ居ル日本醫師會ノ内部ノ態度ト云フモノヲ見マス、日本醫師會ニ加盟シテ居ル所ノ醫者ハ、自由氣儘勝手ニ、俺ハ保險醫タルコトヲ欲シナイト云フコトデ、保險醫トナラナイト云フヤウナ今日ノヤウナ自由ノ狀態ニ放任シテ行クト云フコトハ、是ハ日本醫師會ノ責任ニ於テモ私ハ日頃ドウカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ契約ヲ實行シテ居ルヤウナ現在デアリマスカラ、モウ少シ何トカ各醫師ノ、斯ノ如キ自由ナル勝手氣儘ナル處置ト云フモノニ對シテ、相當程度ノ掣肘ヲ加ヘルコトガ

必要デハナイカト思フ、萬已ムヲ得ザル事情ニ依ツテ保險醫トナルコトガ出來ナイ事情ガアリマスカラバ、ソレニ醫師會ノ承認ヲ豫メ求メルトカ、或ハ政府ノ諒解ヲ求メルトカ、何等カノ方法ニ依ツテ、已ムヲ得ザルモノハ認メルト云フヤウナ形式ニ少クモ改メナケレバナラヌノデハナイカ、今日ノヤウニ被保險者ヲ取扱フノハ嫌ダト云フコトデ、勝手氣儘ニ保險醫タルコトヲ辭スルコトガ出來ルト云フヤウナ現狀ニ置カレテ居ルガ、此ノ點現狀ノ儘デ政府ハ已ムヲ得ナイモノト考ヘテ居ルカ、或ハ何等カノ方策ヲ講ジナケレバナラナイカト考ヘテ居ルカ、被保險者ノ立場カラ言ヒマス、總テノ醫者ガ總テ保險醫デアツテ欲シノデス、サウシナケレバツイ急ナ疾病等ニ罹カツテ醫者ヲ呼ンデ來タ場合、ソレガ圖ラズモ保險醫デナカツタト云フヤウナコトデ、自腹ヲ切ラナケレバナラヌト云フヤウナコトガ頻々トシテ起ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點現狀ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○清水政府委員 保險醫ノ指定ノコトニ付キマシテハ、從來モ色々研究シマシテ、出來ルデケ被保險者ニ不便ヲ與ヘナイヤウニト云フコトヲ心懸ケテ居リマスガ、最近

是等ノ點ニ付キマシテモ、特ニ醫師會等ト協力シマシテ調査研究ヲシテ居リマス、御同感ノ點モ多ウゴザイマスカラ、一層善處シタイト思ヒマス

○塚本委員 次ニ御同致シマスノハ、被保險者ガ困ツテ居リマスノハ、轉醫ガ認メテ貰ヘナイコトデアリマス、法規ノ上デハ轉醫ガ認メラレルコトニナツテ居リマスガ、實際問題トシテハ、容易ニ轉醫ガ行ハレナイノデアリマス、最初病氣ニナツタ、怪我シタ、其ノ咄嗟ノ間ニ考ヘテ兎ニ角駈付ケル、サウシテ最初醫者ニ掛カツタ後デ、其ノ醫者ヲ變リタイト考ヘマシテモ、中々變リ得ナイノガ今日ノ狀態デアリマス、其ノ後甚ダシイノハ——是ハ私ノ友人ニモアツタノデアリマスガ、被保險者自身ガ、自分ノ病氣ハ斯ウデナイカト云フ、証リ自覺症狀ト申シマスガ、其ノ症狀ヲ自覺シテ、自分自身デ俺ノ病氣ハ斯ウ云フ病氣ニ違ヒナイト考ヘテ、醫者ノ所ヘ行ツテ見マシタ所ガ、醫者ハサウデナイト云フ別ノ診斷ヲ下ス、ソコデ長イ間アスコヘ通ツテ居ツテモドウモ癒ラナイ、ソコデ被保險者ハ自分ノ考ヘル通りラシイト思ツテ、他ノ醫者ニ診テ貰フト果シテ其ノ通りデアル、更ニ念ノ爲ニモウ一遍他ノ醫者ニ掛カツテ診テ貰ツテモ、

ヤハリ被保險者自身ノ考ヘテ居ル病氣ト同一デアル、斯ウ云フノデアリマシテ、最初掛カツタ醫者ノ所ヘ行ツテ、ドウモ私が最初言ツタ通りノ病氣ラシイガ、アナタハドウ思ヒマスカト言ツテ聴キマスト、ヤハリ最初診タ通りノ診斷デ、ソレヲ固持シテ自説ヲ曲ゲナイノデアリマシテ、容易ニ轉醫ヲ認メテ呉レナイ、斯ウ云フ場合ニ、主トシテ今被保險者ノ行ツテ居リマス方法、是ハ政府ノ方デハ御承知ナイカモ知レマセスガ、今日實際被保險者ハ同時ニ二人ノ醫者ニ掛ツテ居ル、一方ハ保險醫ニ掛カリ、一方ハ保險醫デナイ別ノ醫者ニ掛カツテ居ル、何故サウ云フコトヲシナケレバナラヌカト云フト、即チ療養ノ給付ヲ受ケ、竝ニ療養ノ給付ヲ受ケルト共ニ休業手當ヲ貰ハナケレバナラヌ、休業手當ヲ貰フニハ保險醫ノ證明ガ要ルノデアリマス、其ノ保險醫ノ證明ヲ貰フ爲ニハ、ドウシテモ其ノ保險醫ニ掛カツテ居ラナケレバナラヌ、サウ云フコトデ、即チ休業手當ヲ貰フ爲ニ保險醫ニ掛カツテ居リマシテ、而モ其ノ保險醫カラ貰フ藥ハ實際ハ服ンデ居ラナイ、今日藥ナドモ事變ノ爲ニ相當缺乏ヲ來シテ居ルト聞イテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ時ニ於テモ、折角醫者カラ貰ツタ藥ヲ服マナイデ、自分ハ自

身ノ信ズル醫者カラ別ノ藥ヲ貰ツテソレヲ服ンデ居ル、ソシテ保險醫カラ貰ツタ藥ノ方ハ捨テテシマフノデアリマス、コンナ無駄ナコトヲヤツテ居ルノガ相當アルノデアリマスガ、是等ハ轉醫ト云フモノヲモウ少シ自由ニ認メルヤウニシタラバ、ソナ不經濟ナコトハナクシテ済ムノデアリマス、勿論是ハ全部ノ醫者トハ申シマセス、中ニハ快ヨク、容易ク轉醫證明ヲ呉レルモノモアリマスガ、中々サウ云フ轉醫證明モ呉レナイ醫者ガ多イ、其ノコトノ爲ニ被保險者ガ非常ニ困ツテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ付テモ政府ノ方デハサウ云フコトハ實際分ラナイノデアリマスガ、薩ニハサウ云フコトガ行ハレテ居ルノデアリマス、國家的ニ見テ甚ダ無駄ノ多イコトデアリマスシ、被保險者トシテモ辛イコトデアリマスカラ、何トカシテ此ノ轉醫ヲモウ少シ自由ニ認メラレルヤウナ方法ヲ御考ニナツテ居ルコトガアリマセウカ、サウ云フ事實ハ是マデ御存ジナカツタノデアリマセウカ、御同致シテ置キタイ

○清水政府委員 御話ノ點ハ吾々モ十分氣ガ付イテ居ル譯デアリマシテ、轉醫ト云フコトヲ餘リ難シクシナイヤウニヤル方針デ、實ハ居ル譯デアリマス、偶々色々ノ關係デソレガサウ云フ風ニ難シクナル譯デアリマスガ、是ハ尙ホ今後モ一層地方ノ方ヲ督勵シマシテ、餘リサウ云フコトノナイヤウニ致シタイト考ヘマス

○塚本委員 モウ一ツ先刻ノ問題ト關聯シテ被保險者ノ立場カラ言ヒマスト、兎ニ角醫者ハ全部保險醫デアツテ欲シイ、總テノ醫療機關ハ擧ゲテ被保險者ガ自由ニ利用セラレルヤウナ狀態デアツテ欲シイト云フコトガ、被保險者ノ深イ念願デアリマスガ、前ニ申シマスヤウニ醫者ノ中ニハ、サウ云フ風ニ勝手ニ保險醫ヲ辭シテ居ル者ガ相當アリマスシ、一方ニハ醫療機關ヲモウ少シ廣イ範圍ニ利用スルヤウニシテ貰ヒタイ、政府ノ方デハ日本醫師會、日本齒科醫師會、或ハ日本藥劑師會ノ外官公立病院、或ハ大學ノ附屬病院ニ被保險者ノ診療ヲ委託シテ居ラレルノデアリマシテ、戴キマシタ資料ニ依リマシテモ、十二年度末ニ於テハソレ等ノモノハ五十五ヲ算シテ居ルト云フコトデアリマスガ、是等官公立及ビ大學ノ附屬病院ト云フモノ以外ニ於テ、醫師ニ非ザルモノガ經營シテ居リマス醫療機關等モ、サウ大シテ多クナイノデアリマスケレドモ、相當内容ノ充實致シマシタ診療所、病院等ガアル譯デアリマスガ、是等ノモノハ今日保險醫

タラント欲シテモ、保險醫タルコトハ出來ナイ現情ニ置カレテ居リマス、勿論是ハ日本醫師會ノ疎隔、日本醫師會ノ壓迫ト云フヤウナモノガアリマスガ、非醫者ガ經營シテ居ル病院デアリマシテモ、ソコニ診療ニ從事シテ居リマス所ノ醫者ハ、總テ日本醫師會ノ會員デアツテ會費ヲ納メテ居ルノデアリマス、ソレニモ拘ラズサウ云フ所ニハ被保險者ノ診療ヲ認メテ貰ヘナイト云フヤウナコトハ、不合理デアリ、被保險者ノ立場カラ言ヒマシテモ、前ニ申シマシヤウナ理由ニ於テ、是等ノ醫療機關ヲ廣ク利用シタイト云フノガ、被保險者ノ念願デアリマスカラ、政府ハ官公立病院或ハ大學ノ附屬病院等ニモ診療ヲ委託サレマシタト同様ナ意味ニ於テ、ソレ等ノ病院或ハ診療所、サウ云フヤウナモノニ保險ヲ取扱ヘルヤウナ風ニセラレタラドウカト思ヒマスガ、御所見ハ如何デスカ

○清水政府委員 御話ノ點ハ目下日本醫師會トモ相談中デアリマシテ、成ベク御趣旨ニ副フヤウニ進ミタイト思ツテ居リマス

○塚本委員 是ハ是非サウ云フ風ニ御取計ヒヲ願フコトニ致シマシテ、次ハ療養ノ給付及ビ傷病手当金ノ支給ノ期間ガ結核性患者ニ對シテ先ヅ一年ニ延ビタノデアリマス

ガ、是ハ結核性患者以外ニ長期ニ互リマス所ノ慢性疾患ト云フモノガ、相當外ニマダ澤山アルト思ヒマス、是ハ才醫者サシノ方ガ能ク御存知ノコトダト思ヒマスガ、何故サウ云フ結核性疾患ヲ選バレテ、他ノ慢性長期ニ互リマス疾病ニ對シマスルコトヲ御考ニナラナカツタノデアリマスカ、伺ツテ見タイ

○清水政府委員 健康保險ノ統計ニ依リマスト、主ナ長イ病氣ハ結核性疾患デアリマス、其ノ外「トラホーム」トカ精神病トカアリマスガ、其ノ疾病ノ一般體位ニ及ボス影響其ノ他カラ考ヘマシテ、結核性疾患ト云フモノニ最モ重キヲ置カナケレバナラスト考ヘタ譯デアリマシテ、先ヅ結核性疾患ヲ一年ニ延バサウト云フコトニシタノデアリマス、是ハ保健經濟ト云フ點トモ睨ミ合セマシテ、一應サウ云フコトニシタノデアリマシテ、他ノ病氣ハスル必要ガナイト考ヘテ居ル譯デアリマセス

○塚本委員 是ハ今述ベラレマシタ外ニ高血壓カラ來ル所ノ中風性ノ疾患トカ、色々サウ云フ長期ニ互ル慢性疾患ガアル譯デアリマシテ、是ハ非保險者ノ家庭經濟ヲ脅カス點カラ行キマスレバ、結核性疾患モ同様デアリマシテ、何トカシテサウ云フ長期ニ

互ル所ノ疾病ニ對シマシテ、療養ノ給付ヲ續ケテ貰ヒタイト思フノデアリマス、時間ヲ急ギマスノデ多クハ申上ゲマセヌガ、私共ノ希望ト致シマシテハ療養ノ給付ニ付テハ一般的ニ此ノ療養ノ給付ノ期間ヲ一年位ニシテ貰ヒマシテ、ソレカラ結核性疾患トカ其ノ他慢性的長期ニ互ル疾患ニ對シマシテハ、少クトモ三年位ハ此ノ療養ノ給付ガ行ハレルヤウニシテ戴キタイト思フノデアリマス、勿論實際ノナイコトデアリマスガ、是ハ工場法ニ於キマシテハ體力公傷ニ依リマスル障害ニ對シマシテハ三年間療養給付ガアリマシテ、三年經ツテモ全癒シナイ場合ニ於テ初メテ相當ノ手當ヲ出シテ打切ルト云フコトガ、工場法ニ於テ行ハレテ居ルノデアリマスカラ、健康保險法ニ於キマシテモ大體サウ云フ所マデ發展セシメテ戴キタイト云フコトヲ希望シテ置キマス、ソレカラモウ一ツ二ツ簡單ニ御尋シマスガ、任意繼續被保險者ノ資格デアリマスガ、此ノ點ハ百八十日ヲ以テ打切ルコトニナツテ居リマスガ、是ハ百八十日デハ餘リニ可哀サウデハナイカト思ヒマス、少クトモ一年位マデ延バシタラドウカト思ヒマスガ如何デゴザイマスカ

○清水政府委員 任意繼續被保險者ト云フモノヲ繼續サセル條件ニ付キマシテハ、是ハ暫ク工場カラ工場ニ變ハル間ノ轉業ノ期間ヲ繋イデ置クト云フヤウナコトダケヲ考ヘマシタノデ、隨テ短クナツテ居リマス、長イコトニナリマスト是ハ別ナ失業トカ何トカ云フ問題ニナツテ來マシテ、健康保險ノ關係トハ少シ違フヤウニ思ヒマスノデ、今ノ所之ヲ延バスト云フヤウナ考ハ持ツテ居リマセス

○塚本委員 今日ハ幸ニ致シマシテ或ル種ノ工業ニ於キマシテハ、相當股賑デアリマシテ、勞働者ガ手不足デアリマスカラ、割合ニ就職モ早イト思ハレルノデアリマスケレドモ、是ハ好景氣ノ場合ト不景氣ノ場合トハ非常ニ其ノ事情ガ違ヒマシテ、或ル工場ヲ離レマシテ次ノ工場ニ入ルマデノ期間ト云フモノハ、半年位デハ就職ノ見當ラナイ場合ノ方が多イト思ヒマス、ソレカラ今デハ平和産業ト申シマスカ、不振産業ト申シマスカ、サウ云フ方面デハ中々次ノ適職ヲ搜スト云フコトハ、容易デナイト云フヤウナ事情ニ置カレテ居リマス、ソレカラモウ一ツハ、若イ者ハ轉職シマスノモ非常ニ早イノデアリマスケレドモ、相當ノ年齢ニ達シタ場合ニ轉職シナケレバナラス、他ノ工場ニ變ラナケレバナラスト云フヤウナ場

○清水政府委員 任意繼續被保險者ト云フモノヲ繼續サセル條件ニ付キマシテハ、是ハ暫ク工場カラ工場ニ變ハル間ノ轉業ノ期間ヲ繋イデ置クト云フヤウナコトダケヲ考ヘマシタノデ、隨テ短クナツテ居リマス、長イコトニナリマスト是ハ別ナ失業トカ何トカ云フ問題ニナツテ來マシテ、健康保險ノ關係トハ少シ違フヤウニ思ヒマスノデ、今ノ所之ヲ延バスト云フヤウナ考ハ持ツテ居リマセス

合ニハ、ヤハリ是亦相當長イ間ノ期間ヲ必要トスル場合ガアリマシテ、サウ云フヤウナ事情カラ致シマシテ、此ノ期間ハ少イトモ一年位マデニ延バシテ貰ハナケレバ、被保險者トシテハ困ル場合ガ多イノデアリマシテ、今ノヤウナ質問ヲシタ譯デアリマス、是非今後此ノ點ヲ御考慮願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ是ハ私ノ一ツノ質問ト云ヒマス、第十一條ノ中ニ於キマシテ「健康保險組合ガ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分ヲ爲ス場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス」、主務大臣ノ認可ヲ受ケテ健康保險組合ハ國稅滯納處分ガ出來ルヤウナ途ヲ開カレタノデアリマスガ、實際問題トシテ健康保險組合ガ、國稅滯納處分ノ例ニ依ツテ處分ヲシナケレバナラスヤウナ場合ガアリ得ルノデアリマセウカ、實例ヲ以テ御示シヲ願ヒタイ

○清水政府委員 從來ノ方針トシマシテ、健康保險組合ハ大體一ツノ事業ヲ基礎ニシテ出來テ居ルノデアリマス、所ガ段々一ツノ事業デナシニ澤山ノ事業ヲ纏メテ健康保險組合ヲ作ルト云フヤウナ機運モアリマスノデ、サウナリマスト結局政府ガ健康保險事業ヲヤツテ居ルト同ジヤウナコトニナリマシテ、相當滯納者モ出テ來ルドラウト考

ヘラレマス、隨テサウ云フ方法モ必要デハナイカ、斯ウ云フコトデアリマス

○塚本委員 能ク諒解致シマシタ、私共ハ殊ニ小サイ工場ガ數工場集ツテ、健康保險組合ヲ設立シテ貰フヤウニ便宜ヲ圖ツテ呉レ、ソレヲ認メテ呉レト云フコトヲ日頃叫ンデ居リマス者ト致シマシテハ、只今ノ御答辯ニ依ツテ其ノ事情ガ能ク分ツタノデアリマス、但シ私ハ過去ノ實例ニ依リマシテ、政府ニ一ツ申上ゲテ置カナケレバナラスノデアリマスガ、從來斯ウ云フ保險料ヲ滯納シタト云フコトニ對シマスル強制處分ヲ致シマス場合ニハ、非常ニ無茶ナコトガ行ハレテ居リマス、僅カナル保險料ノ滯納ニ對シマシテ、必要以上ナル差押ヲスルモノガ往々アルヤウデアリマス、殊ニ其ノ甚シイノハ其ノ事業主ガ由ツテ以テ生活ノ根據トシテ居リマス所ノ、器具機材等ヲ差押ヘル場合ガアルノデアリマシテ、是ハ心スベキコトデハナイカト思フノデアリマス、僅ニ印刷機械ヲ一臺、二臺、數臺ヲ置イテヤツテ居リマス者ガ、此ノ保險料滯納ト云フコトニ依ツテ、其ノ印刷機械ヲ差押ヘラレテシマツタト云フヤウナコトガアツタノデアリマス、サウシマスト是ハ事業ヲ絶タレタ譯デアリマシテ、生キテ行ク途ヲ絶タレタ

コトニナルノデアリマス、而モ不當ニ高價ナモノヲ差押ヘルト云フヤウナ場合モ、往往ニシテアルノデアリマス、デスカラ是ハマダ御記憶ノコトダト考ヘマスガ、先年大阪ノ泉尾健康保險出張所ニ於キマシテハ、其ノ事ノ爲ニ憤慨シマシタ工場主ガ、日本刀ヲ揮ツテ事務所ニ乗込シテ、數名ヲ傷ケタト云フヤウナ事件スラモ持上ツタノデアリマスガ、サウ云フコトニ對シマスル不平ト云フモノモ、相當大キナモノガアルノデアリマス、勿論私ハ之ニ對シテハ工場主モ怪シカラスト考ヘマス、此ノ場合被保險者、即チ勞働者ハ必ズ賃銀ノ中カラ積立金ヲシテ居ルノデアリマスカラ、其ノ保險料ヲ滯納シテ行クト云フコトハ、結局勞働者ノ積立金ヲ使ヒ込シテ居ルト云フコトニナルノデアリマシテ、是ハ實ニ怪シカラヌ行爲デアツテ、許スベキデハナイト思ヒマス、許スベキデハアリマセヌケレドモ、ソレニ對シマスル滯納處分ノ仕方ト云フモノガ餘リニ度ヲ過ギテ、却テ恨ヲ買フト云フヤウナモノガ過去ニ於テアツタノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テ折角ノ法律ヲ拵ヘテ置キナガラ、國民ノ一部ニ犯罪者ヲ生ジ、或ハソレニ因ツテ恨ヲ深クスルト云フヤウナ者ガ生ズルコトニナリマス、是ハ甚ダ喜バ

シクナイコトデアリマスカラ、十分ニ御考慮ガ願ヒタイノデアリマス、其ノ點ニ付テ何カ政府ノ方デサウ云フコトノナイヤウナ處置等ニ付テ、御考慮ガアツタナラバ御伺シテ置キタイト思ヒマス、其ノ次ニハ……

○眞鍋委員長 塚本君ニ一寸申上ゲマスガ今大臣ニ豫算討論中ニ來テ戴イタノデ、大臣以外ノ質問ハ一寸留保ヲ御願シテ、大臣ニ對スル通告ガ澤山アリマスノデ、ソレカラ先ニヤツテ戴キタイト思ヒマス

○塚本委員 ソレデハ保留シテ置キマス

○眞鍋委員長 大體事務的ノ方ハ塚本サンカラ二三點、永山サンモ二三點アルサウデアリマス、大臣ノ方ノ質問ハ八名程アリマスノデ、無制限ニヤツテ居リマスト結局皆サンニ御満足ヲ與ヘルコトガ出來スト存ジマス、理事諸君トモ御相談ノ上デノ御申出デアリマスカラ、此ノ際時間ノ制限ヲシタイト思ヒマス、一人當リ二十分位ニ制限シテ戴キタイト思ヒマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○眞鍋委員長 異議ナシト認メマシテ、サウ云フコトニ御願致シマス——ソレデハ昨日ニ續イテ土屋清三郎君

○土屋委員 私ハ主トシテ診療録ノ査閱ニ關

シテ大臣ニ質問致シマス、詳シク申上ゲル必要ハナイト思ヒマスガ、私ノ要求致シマシタ資料ニ依リマス、國民健康保險施行規則、母子保護法施行規則、救護法施行規則、文字ハ違ヒマスケレドモ、療養給付ニ關スル帳簿書類、醫療ニ關スル帳簿書類、醫療竝ニ助産ニ關スル帳簿書類云々、色々ナ文字ヲ使ツテ居リマスガ、此ノ帳簿書類ト云フ中ニハ一種ノ診療録ハ含マザルモノト考ヘテ居リマスガ、ドウデアリマスカ

○廣瀨國務大臣 醫師ノ診療簿ハ含シテ居リマス

○土屋委員 含ムト解釋スル法律上ノ根據如何

○佐藤政府委員 根據ト申シマスガ、帳簿書類ノ中ニハ當然含シテ居ルト思ヒマス、問題ハ根據ト申シマス、醫師法トノ關係ノ問題カトモ思ハレマス、若シ醫師法ノ解釋ヲ採ルナラバ、此ノ省令ハ醫師法ニ違反スル、サウ云フコトニナレバ含ムト云フ解釋ハ不適當ナル解釋デアリマス、所ガ醫師法ノ規定スル範圍ニ於キマシテハ曩ニモ申上ゲマシタ通り、地方長官ノ醫師ニ對スル一般監督ニ關スル規定デアリマシテ、ソレ以外ニ於テハ醫師法ノ關スル所デハナイノデアリマス、隨テ所謂法律ノ先占區域外デアリ

マスカラ、其ノ外ニ於キマシテハ、如何ナル規定ヲ設ケルカト云フコトハ、憲法九條ノ命令ガ問題ニナツテ來ル、而シテ憲法九條ニ依ツテ斯ウ云フ命令ヲ設ケルコトハ差支ナイト考ヘマスカラ、隨テ此ノ規定ハサウ云フ意味ニ於キマシテ、診療録ハ入ツテ居ルモノト解釋スルコトハ差支ナイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○土屋委員 サウシマス、憲法第九條ノ何ニ屬スルモノト御考ニナツテ居リマスカ

○佐藤政府委員 憲法九條ノ規定スル所ハ、所謂法律ヲ執行スル爲ノ執行命令ト獨立命令デアリマシテ、茲ニ問題ニナルノハ、獨立命令ト考ヘテ居リマス、獨立命令ニ付キマシテハ、法律ニ違反スルコトハ出來ナイ、法律ノ立法事項ハ規定スルコトガ出來ナイト云フ制限ガアリマシテ、其ノ制限ノ範圍内ニ於キマシテハ、例ヘバ大權事項ト云フヤウナモノニ付キマシテハ別デアリマスガ、ソレ以外ニ於キマシテハ、從來ノ解釋上、又實際ノ運用上、命令ヲ以テ規定シ得ルノデアリマス、此ノ施行令ハ其ノ獨立命令ニ該當スルモノト考ヘテ居リマス

○土屋委員 是ハ先ニ私ガ擧ゲマシタ法律ヲ執行スル命令デハナイデスカ、獨立命令ハ法律ニ關係ナイ執行命令デハナイデスカ、

御間違ヒデヤナイデスカ

○佐藤政府委員 執行命令ト申シマスノハ、從來ノ解釋ニ於キマシテハ、法律ヲ執行スル爲ノ細則等ヲ規定スルノデアリマシテ、其ノ執行命令ニ依リマシテ、新ナル事項ニ權利義務ニ關スルヤウナ事項ハ規定スルコトハ出來ナイモノト解釋シテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ命令ハ執行令ニアラズシテ、獨立命令ト解釋シテ居リマス

○土屋委員 假ニ獨立命令ナリトシマシテモ、診療録ニ關シテハ法律ガ醫師法ニ明記シテ居ルソレ以外ニ、勝手ニサウ云フ規定ヲ設ケテモ、所謂命令ヲ以テ法律ヲ侵スモノデアアル、隨テ裁判所ヲ拘束スル力モナケレバ、人民ハ之ニ對シテ當然其ノ無効ヲ主張スルコトガ出來ル、隨テア、ナタ方デ左様ナ解釋ヲ致シマシテモ、若シ醫師ガソレハ憲法違反デアルト云フコトデ之レヲ拒ンダナラバ、其ノ場合ドウシマスカ

○佐藤政府委員 今ノ御質問デアリマスガ、違法ナリヤ否ヤト云フコトハ、先程モ申シマシタ通り、命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトハ出來ナイ、ト云フノハ、法律デ規定シタ範圍ノ事項ニ關シマシテ命令ヲ以テ法律ト異ナル規定ガ出來ナイト云フ意味デアリマシテ、法律ノ規定スル範圍外ニ於テ、命

令ヲ以テ規定スルカ否カハ、法律ノ醫師法ノ問題デハナイノデアリマス、憲法九條ノ問題デ、憲法九條ノ解釋トシテ差支ナイト思フノデス、ソコデ次ノ、若シ其ノ醫師ガ拒ンダ場合ドウスルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ法律ニドウ書イテアツテモ、事實上拒ムト云フコトハ已ムヲ得ヌノデアリマシテ、其ノ爲ニ色々ナ法規ニ於キマシテ色々ナ命令事項ガアル、拒ンダ場合ニハ罰スルト云フヤウナコトガアリマシテ、拒ムカ拒マヌカト云フコトハ事實上ノ問題デアリマシテ、法ハ其ノ政府ガ査閱スル場合ニ於テ醫師ハ受忍ノ義務ガアルト云フコトヲ規定スルノデアツテ、義務ハ醫師ノ問題デアツテ、事實上ノ問題デハナイ、拒ムカ拒マヌカハ事實上ノ問題デアツテ、法ガアツテモ拒ンダト云フ例ハ澤山アルノデアリマシテ、他ノ諸種ノ法規デ色々ナコトヲ規定シテ居リマシテモ、其ノ法律デ規定ガアルナラバ他ノ法律ノ規定デ罰シナケレバナラヌト云フコトハナイ、罰スル所ノ行動ノ問題ト、意思ノ規律ノ問題ト、現實ノ問題トハ是ハ別問題デアリマス

○土屋委員 答辯ハ短カク答ヘテ戴キタイ、拒ンダラドウスルカ、當然醫師ハ拒ミマス、祕密ヲ守ラナケレバナラヌ所ノ義務ヲ法デ

課セラレテ居ルノデアルカラ、政府ガ勝手ニ命令ヲ作ツテ勝手ニ解釋シテ之ヲ査閱スル、ソレヲ拒ムノハ當然デアル、其ノ拒ンダ場合ニドウスルカ

○佐藤政府委員 現在ニ於テハ罰則ガアリマセヌカラ、其ノ健康保險法等ノ施行ニ於テハ如何トモスルコトガ出來マセヌ

○土屋委員 醫師法ガアレダケ嚴格ニ診療録ノ査閱ニ付テ規定致シマシタコトハ、醫師ノ權利義務ノ問題デアルト同時ニ、患者及ビ家族ニ對スル、社會全般ニ對スル非常ナ影響ヲ考慮シテノ結果デアリマス、醫師法デアレダケノ嚴格ノ規定ヲ設ケテ居ルニ拘ラズ、健康保險法、國民健康保險法其ノ他ノ保險ニ關スル法律ノ實施ニ當ツテ、勝手ニ政府ノ解釋ヲ以テ其ノ秘密ノ記錄ヲ見ラレルト云フコトニナリマスレバ、患者ハ醫師ニ對シテ眞實ヲ語ルコトヲ避ケルデアリマセウ、醫師モ亦其ノ事實ヲアリノ儘ニ記錄スルコトヲ避ケルデアリマセウ、病名ヲ記載スルニ當ツテモ眞實ノ病名ノ記載ガ出來ナクナル、患者モ困レバ醫師モ困ル、サウ云フ場合、醫師ガ眞實ノ病名ヲ記載シナイナドト云フコトハ、現ニ獨逸ガ所謂斷種法ヲ制定致シマシタ結果、他ノ病名ヲ皆記載スルヤウニナツタ例ニ依ツテ明瞭デア

ル、サウ云フコトニナリマスレバ、世ノ中ガ非常ニ不安ニナル、折角醫療ヲ國民ニ普及ラシメントシタ此ノ制度ハ、斯様ナ無謀ナ査閱規定ニ依ツテ大變妨グラレハシナイカドウカ、世ノ中ハ非常ニ不安ヲ感ズルヤウニナリハシナイカドウガ、是ハ厚生大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイと思フ

○廣瀨國務大臣 今マデ此ノ法律ヲ施行致シマシテモ、秘密ノ問題ニ付テ不安ヲ與ヘタ事實モ私ハ聽イテ居リマセヌ、デアリマスカラ、サウ云フ事ニ付テ國民ニ不安ヲ與ヘルコトハナイ、斯ウ思ツテ居リマス

○土屋委員 能ク調ベテ御覽ナサイ、現ニ國民健康保險法デ保險組合ヲ作ツテ、此ノ問題ニ打突ツテ躊躇シテ居ル所ガアルデヤアリマセヌカ、後デ能クアナタノ方デ御調ベニナルガ宜シイ、ソレバカリデナク、斯ウ云フコトヲスルト云フコトハ、結局今日ノヤウニ官僚獨善ノ此ノ政府ノ下ニ於テハ、得テ之ヲ政治上ニ惡用シ易イ、斯様ナ無理ナコトヲシナイデモ、立派ニ醫師法ニ規定ガアツテ、醫師ガ傳染病ヲ隱蔽スル疑ノアル場合、或ハ麻藥ヲ濫用スル疑ノアル場合、若クハ業務ニ關シテ不正ナ行爲ヲスル疑ノアル場合、堂々ト地方長官ガ衛生官吏ヲ指揮シテ之ヲ査閱スルコトガ出來ルノ

デアルカラシテ、此ノ醫師法ノ明確ナル規定ガアルニ拘ラズ、何ヲ苦シンデ無理ニ命令ヲ作ツテ、罰則ノナイモノヲ振廻シテ、實行不可能ノヤウナ斯ウ云フ規定ヲ強ヒテ遂行シヨウトスルノデアルカ、醫師法ノ正條ニ依ツテ取締ガ出來ナイト云フ根據ハ何處ニアルカ、是モ厚生大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイ

○佐藤政府委員 醫師法ニ御話ノ通り明瞭ナ規定ガアリマス、規定ガアルノハ、醫師法ノ規定スル範圍ノ問題デアリマシテ、規定ハ明瞭デゴザイマス、同時ニ範圍モ今申シマス通り現在ノ國民健康保險等ハ範圍外ノ問題デアリマスカラ、隨テ醫師法ガ幾ラ規定ガ明瞭デアツテモ、其ノ範圍外デアルカラ如何トモ致シ難イト云フコトニナルノデアリマス

○廣瀨國務大臣 只今政府委員カラ答辯ヲ致シマシタ通りデアリマス

○土屋委員 ドウモ政府ノ答辯ハ譯ガ分ラナイ、醫師法ニチャント診療録ヲ斯ウ云フ風ニシテヤルト云フ規定ガアリナガラ、ソレデヤツテナゼ惡イノデアルカ、其ノ點ヲ私ハ聽イテ居ル、チャント醫師法ト云フモノヲ制定シテアル、ソレヲコツチノ方ニ藏ヒ込ンデシマツテ、譯ノ分ラナイ曖昧ナ勝

手ナ命令ヲ解釋ヲ以テ、診療録ヲ無理ニ見ナケレバナラヌ理由ガ分ラヌ、ダカラ醫師法デナゼヤレナイカト云フ、ソレヲ聽イテ居ル、政府委員ト大臣トガ交リ番ニ答辯シテ居ツタノデハ暇ガ掛ツテ仕様ガナイ、是ハ大臣カラ直接答辯ヲ願ヒタイ

○佐藤政府委員 何度御話シテモ同ジデアリマスガ、醫師法ノ規定ハ命令デアリマス、而シテ其ノ範圍ガ地方長官ノ一般監督權ノ範圍内デアリマスカラ、隨テ醫師法ノ範圍外ノコトハ省令ヲ必要トスル所以デアリマス

○土屋委員 大臣ハ如何デアリマスカ

○廣瀨國務大臣 政府委員ガ今答辯致シマシタ通りデアリマス

○土屋委員 ソレデハ醫師法ノ規定ト云フモノハ一體ドウ云フコトニナルカ、醫師法ニハ査閱スル場合ヲ嚴格ニ制限シ、査閱スル官吏ヲ嚴格ニ制限シ、其ノ者及ビソレヲ指揮監督スル關係者ガ秘密ヲ漏洩シタ場合ニハ、嚴重ナル制裁ガアル、然ルニ此ノ診療録ヲ本法ニ規定シタル命令ノ中ニ當然含ムモノト勝手ニ解釋シテ、官吏ヤ町村ノ吏員等ガ之ヲ査閱シテ、他ニ漏シテモ何等ノ制裁ガナイト云フコトハ、一體ドウ云フ譯デアアルカ、議會ガ人ノ秘密ヲ非常ニ重大視

シテ嚴重ニ醫師法ニ規定シテ精神ハ、全ク是デ打壞ハサレテ居ルデハナイカ、サウ云フモノニ依ツテドシ、秘密ヲ暴露シタ場合ニ、厚生大臣ハ何ニ依ツテ其ノ人ノ秘密ヲ保護スルノデアルカ、是ハ大臣カラ明答ヲ得タイ、政府委員デハイケマセヌ

○廣瀬國務大臣 診療録ノ査閲ノ問題ニ付キマシテハ既ニ數回御答ヘ申上ゲタ通りデアリマス、併シ診療録査閲ノコトハ非常ニ慎重ヲ要スルコトデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ當局ニ於テモ醫師法ノ精神ヲ尊重致シテ、今後尙ホ一層注意ヲ加ヘテ行キタイト思ヒマス、尙ホ事實上秘密漏洩等ノ弊害ヲ生ジタコトハ今マデアリマセヌ、併シ是等ニ付テハ適當ノ時期ニ秘密漏洩ニ關スル罰則ヲ規定スルヤウニ致シタイト私ハ思ツテ居リマス

○土屋委員 段々ヲカシクナルノデスガ、其ノ秘密漏洩ニ關スル罰則ヲ設ケルト云フコトハ、各關係法律ヲ改正シテ其ノ法律ニ於テ規定スル趣旨デアルカドウカ

○佐藤政府委員 ソレハ只今考ヘテ居リマスノハ、適當ナ時期ニ於キマシテ命令ヲ以テ罰則ヲ規定スル、斯ウ云フヤウニ思ツテ居リマス

○土屋委員 命令ヲ以テ罰則ヲ規定シテモ、

命令ニ於テ罰則ヲ定メラルル範圍ハ法律ヨリモズツト狭イ、ソレカラ醫師法ニハ査閲シ得ル場合ヲ嚴格ニ限定シテ居ル、其ノ點ガ大變違フノデアリマス、要スルニ今マデアナタ方ハ醫師法ヲ潜ツテ裏門ノ方カラ垣根ヲ破ツテ勝手ニ出入リシテ居ツタ、今議會ニ於テ追究ニ遭ツテ、將來命令ヲ以テ罰則ヲ定メルナドト云フヤウナコトハ、泥棒ヲ捕ヘテ繩ヲ綱フノト同ジコトデハナイカ、況ヤ罰則ノ範圍ハ狭イ、而モ此ノ國民健康保險法、船員保險法、職員保險法等ヲ通ジテ關係官吏及ビ吏員若クハ組合ノ役員ガ、之ヲ査閲スルト云フコトニナルト、其ノ査閲スル人間ノ範圍ト云フモノハ非常ニ廣イ、醫師法ノ精神ト云フモノハ全然ナクナル、人ノ秘密ガ如何ニ社會生活ニ於テ尊イカト云フコトヲ厚生大臣ハ御考ニナラナイノカ、此ノ點ニ付テハモウ此ノ程度デ止メル積リデアリマスカラ、ハツキリ御答辯ヲ得タイ、ソレニ依ツテ吾々ノ態度決定ハ自ラ考ヘナケレバナラス

タ、ソコデ秘密ノ漏洩ヲ處罰スル規定ハ置キマセヌデシタケレドモ、將來適當ナ機會ニ必要ガ起ルナラバ規定ヲ置キマス、規定ノ程度ノ問題デアリマスガ、省令ノ罰則ト云フノハ御承知ノ通り三月以下ノ懲役、禁錮、拘留百圓以下ノ罰金デアリマシテ、殊ニ體刑ノ附イテ居ルコトハ非常ニ罰トシテ重イノデアリマス、醫師法ニ於キマシテモ罰金ノ點ハ百圓デア、體刑ノ點ガ六箇月デ多少ハ違ヒマスケレドモ、體刑ト云フモノハ非常ニ重イモノデアリマシテ、他ノ法規ヲ見マシテモ、例ヘバ最近御話ノ通り國家ノ統制經濟ニ對スル活動ガヒドクナル、ソコデ諸種ノ法規ヲ作ルニ付キマシテモ、從來ハ官吏ノ秘密ヲ漏ラシタ場合ハ規定ガナカツタノデアリマス、文官懲戒令、官吏ノ服務紀律ニ違反シタ場合ニ、懲戒ノ方法ニ依ツテ大體目的ヲ達スルト思ツタノデアリマスガ、今申シマス通り統制經濟ガ盛ニナツテ、來テ官吏ガ民間ノ諸種ノ秘密ヲ漏ラスト云フコトモ考ヘラレルノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ刑罰ヲ以テ罰スルヤウニ、段々方法ガ變ツテ來タノデアリマス、併シナガラ其ノ刑罰ヲ作ル場合ニ於キマシテモ、常ニ體刑ヲ以テヤルノデナクシテ——體刑ヲ以テヤル場合モアルケ

レドモ、罰金ノミヲ以テヤツテ居ル場合モ少クナイノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ、省令デ既ニ三月ノ體刑ヲ科セラレト云フコトハ、非常ニ大キイ問題デアリマシテ、醫師法ニ較ベレバ規定上ハ多少輕イカモ知レヌケレドモ、罰則トシテ體刑ヲ科スルト云フコトハ極メテ重イモノト考ヘテ居リマス

○眞鍋委員長 時間ガモウ過ギマシタカラ……

○土屋委員 アトモウ一點ダケ——今政府委員カラ命令ト法律ノ場合ノ比較ヲサレマシタガ、アナタノ御答辯自體、モウ無茶ナコトガ分ツテ居ル、ナゼ法律デヤラナイ、ソレカラ秘密ヲ洩ラシタ場合ニ官吏ノ文官懲戒令ガ云々ト言ハレルガ、其ノ制裁ヲ受ケル者ハ誰デスカ、文官懲戒令デハ勅任官以下ノ者ガ受ケマセヌ、國務大臣ハ懲戒處分ガアリマセヌ、人ノ社會生活ノ秘密ニ關スル重大ナコトヲ命令ヲ以テビシ、ヤリナガラ己ハ親任官トシテ國務大臣トシテ何等ノ責任ガナイ、何等ノ懲戒モ受ケナイ、ソレデハ濟マナイデヤアリマセヌカ、我が身ヲ抓リテ痛カレバ人モ斯クゾト思ヒ知レ、醫療ニ行ツタ醫師ノ爲ニ大臣自身ガ自分ノ家庭ノ秘密ヲ暴露サレタコトヲ考ヘナケレ

バナラス、其ノ用意、其ノ考ナクシテ國民保健ノ改善、體位ノ向上ト云フモノハ出來マセヌ、是ダケヲ屹度申上ゲテ私ノ質問ヲ打切りマス、態度ハ自ラ後ノ機會ニ明ニシマス

○眞鍋委員長 ソレデハ中崎俊秀君

○中崎委員 私ハ此ノ健康保險法ノ改正ニ付キマシテハ、大分意見ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、併シ時間ノ制限モアリマスノデ、成ベク大綱ニ付テ御伺ヲ致ス考デアリマス、現行ノ健康保險法ヲ改正セネバナラスト云フコトヲ、政府ガ御考ニナツテ居ルト同様ニ、ソレ以上ニ私共ハモツト改正ヲ要シ、又相當ニ檢討ヲシテ戴カナケレバナラス事項ガアルノデアリマス、第一ニ大臣ニ現行ノ健康保險法ニ於テ醫療經濟ト云フコトガ確立出來テ居ルカドウカト云フコトニ付テ、御伺シテ見タイト思フノデアリマス

若シ只今申上ゲタコトニ付テ御分リニナラス所ガアツタト致シマスレバ、モツト細カニ追加スルコトニ致シマスガ、私ノ醫療經濟ト云フノハ、醫師ハ所謂醫療ノ生産者ノ立場ニアル、厚生省ハ配給者ノ立場ニアル、被保險者ハ詰リ消費者ノ立場ニアル、此ノ現行保險法ノ醫療經濟ニ付テ、生産者ノ聲ト消費者ノ聲トノ間ニ非常ニ喰違ヒガ

出來テ居ルト思フノデアリマス、此ノ醫療經濟ト云フモノガ圓滑ニ運用ガ出來ナイ限ニ於テハ、現行保險法ハモツト突込シテ改正ヲセナケレバナラスノデヤナイカト思ハレルガ、之ニ對シテ大臣ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ

○廣瀨國務大臣 現在ノ健康保險ニ依ル醫療費ノ問題ト伺ヒマスガ、是ハ成程十分デ

ナイ點モアルカモ知レマセヌガ、他面ニ於キマシテハ、ヤハリ醫療費ノ支拂ナドハ保險ニ依ルト、確實ニ支拂ハレルト云フコトモアリマスシ、大體今マデノ經驗カラ見テ、日本醫師會トモ今マデ始終打合セテ居ル譯デアリマスシ、先ツ現在ノ醫療費ヲ以テヤツテ行ケルモノト、私共ハ考ヘテ居リマス

○中崎委員 只今ノ大臣ノ御答辯ハ、ドウモ事實ニ遠ザカツテ居リハセヌカト私ハ思フノデアリマス、現在ノ醫療費ト云フモノ

デアツテハ、過般來各委員カラモ非常ニ此ノ點ガ憂慮サレ、論議サレテ居ルノデアリマス、ソレハ所謂醫療ノ低下ト云フ問題デアルノデアリマス、是ハ現在ノヤウナ狀態デ居ツテハ、所謂醫療ノ生産者ノ立場ニアル醫者モ甚ダ困ツテ居リマスシ、又其ノ他消費者ノ立場ニアル被保險者モ、非常ニ現

在ノ醫療ノ程度ニ於テハ不滿ヲ持ツテ居ルノデアリマス、之ヲ私ハ申シテ居ルノデアツテ、ドウモ大臣ハ現在ノ所ニ於テマダヤツテ行ケルガラウ、大體斯ウ云フヤウナ論デアリマスルガ、其ノ事實ハ決シテサウヂヤナイ、今日政府ガ支拂ツテ居ル總テノ費用ヲ醫療費ニ分配致シマス、平均額ハ一日大體十二三錢デアリマス、斯ウ云フ十二三錢ト云フヤウナ額デ、果シテ所謂醫療生産者ノ立場ニアル醫者ガ、本當ニ配給者ニ對シテモ或ハ消費者ニ對シテモ十分ニヤツテ行ケルカドウカ、現在ノ醫療ト云フ科學的ノ問題ニ對シテ、是ガ正當ナルモノト云フ譯ニハドウシテモ行カス、私ノ調査スル所ニ依ツテ見ルト――急ギマシタ爲ニ多イ統計デアリマセヌガ、僅ノ日數約三十日間

ケガ掛ツテシマフト云フコトニナツテ居ル、ソレデ外來ノ患者ニ與ヘテ居ル實費サヘモ、今申上ゲタヤウニ九錢四厘位ノ價格ニ當ツテ居リマス、是ハ今細カニ申上ゲルト――私ハ此處ニ書類ニシテ持ツテ居リマスガ、時間ノ關係上省略シマス、兎ニ角九錢四厘

バカリノ間ノ現在ノ藥品ノ價格、ソレカラ患者ニ與ヘテ居リマスル一日分當リノ實費ヲ調べテ見ルト、本當ノ藥品ダケデモ九錢四厘ニ當ツテ居ル、是ハモウ現在藥品ガ暴騰シテ來テ居タ結果モアリマセウケレドモ、藥品ダケノ價額ガサウデアアル、所ガ今ノ保險法ノ範圍カラ致シテ見マスルト、入院等ニ當リマシテハ其ノ他ニ氷デアルトカ、或ハ其ノ他ノ一切ノ醫療費ヲ含シテ行クノデア

ガ掛ルニモ拘ラズ、現在ノ所デ醫師ニ一日分ノ醫療費トシテ日本醫師會カラ配給ヲサレルノハ約十二錢平均ニナツテ居ル、ソレデハ醫者ガ悲鳴ヲ舉ゲルノハ當然ナコトデス、ソレデハ何トシテモ醫者ハ生活ハ出來マセヌ、殊ニ最近十四日ノ朝日新聞デアツタト思ヒマスガ、切抜ニシテ持ツテ來タノデアリマスガ、最近ハ工場鑛山等ノ勞働者ガ就業時間ガ非常ニ延長サレテ、十二時間ト云フヤウナ殆ド制限外ニアルヤウナ長時間ノ勞働ヲ強ヒテ居ラレル、サウ云フ結果ハ現在被保險者デアアル工場及鑛山等ノ勞働者ノ健康狀態ト云フモノガ益、惡クナルバカリデアアル、段々ニカラ罹病率ハ高クナルト云フコトヲ考ヘテ置カナケレバナラス、一方ニハ藥品ノ價格モ今ノヤウナ狀態デ行ツタナラバ、ドコマデ騰貴シテ行クカ、如何ニ是ハ政府ガ統制シヨウトシテモ物ガナイカラ仕方ガナイト云フコトニナツテ來ル

ト思フ、斯ウ云フ状態ニ置イテオイテ、今ノヤウナ考デ醫療經濟ト云フモノガ圓滑ニ運用出來テ居ルト大臣ガ御考ヘニナルノデアツタナラバ、是ハ非常ニ事實ニ遠ザカツテ居ルコトト私ハ申サナレバナラヌノデア

ツテ、斯ウ云フコトニ對シテ大臣ハドウ御考ニナリマスカ、若シ私ノ申シタコトヲ將來御調査ニナツテ、成程サウデアツタト云フコトデアレバ、相當是ハ訂正シテ行ク御考ガアルカドウカラ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 只今ノ御話ノ點ハ非常ニ重要ナ問題デアリマスシ、色々ナ物價ノ問題ナドト關係ガアルコトデアリマスカラ、能ク是ハ私共ノ方デモ尙ホ慎重ニ研究致シタイト思ヒマス

○中崎委員 唯調査シタイト云フ意味デナク、若シ調査シタ後ニ只今私ガ申シタヤウナコトデ、是デハ醫者トシテモヤツテ行ケナイ、又當然醫療ト云フモノノ低下ヲ來ス、是ハ被保險者ノ立場ニ在ル者モ考ヘナケレバナラヌ、將來國民健康保險ガ益、大キクナルニ從ツテ、此ノ健康保險ノ規定ヲ基準トシテ決メラレテ居ル是等ノ國民健康保險デアルカラ、之ヲ基準トシテヤツテ行ツタナラバ、將來國民健康保險ノ組合デ施行スル

醫療ト云フモノガ、非常ニ憂慮スベキ状態ニナルト思フ、サウ云フ事實デアルナラバ之ヲ何トカ訂正シテ行カナレバナラヌト云フ御考ガアルカドウカラ、ソレヲ一寸伺ヒタイ

○廣瀨國務大臣 此ノ問題ハヤハリ保險ノ目的トカ保險經濟トカ色々方面ト、能ク睨ミ合セテ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマシテ、能ク是等ノ事實ヲ調査シタ上デナイト、今假定的ナ議論ヲ致スノハ如何カト思ヒマスカラ、十分ニ研究ヲサセテ戴キタイト思ヒマス

○中崎委員 保險經濟方面トモ睨ミ合セテト云フ御意見デアツタノデゴザイマスガ、ソレハ洵ニ御尤デアリマス、御尤デアリマスガ、然ラバ私ハ大臣ニ伺ヒタイコトハ、此ノ現行國民健康保險法ガ實施サレテ、此ノ二年間ヲ經過致シマシタガ、政府ハヤハリ最初ニ於テハ、此ノ保險經濟ガドウデアラウカト云フコトヲ御心配サレタト思フノデアリマス、現在ニ於テハヤハリ家族ニマデ延長サレテ醫療ヲ普及サセヨウ、斯ウ云フ所マデ保險經濟ガ進シテ居リマシテ、積立金モ二千万圓出來テ居ルト云フ状態デアノデアリマス、私ハ大臣ニ其ノ事ニ付テ申上ゲタイノハ、一方ニハ保險經濟ガ豐カ

デアル、餘裕ガ出來ツツアル、毎年々々ニ百万圓以上剩餘金ガ出來テ居ル、サウ云フ剩餘金ガ出來テ居ルニモ拘ラズ、一方デ醫療ト云フモノノ低下ニ關シテハ、其ノ儘ニシテ居ルト云フヤウナコトハ、寧ロ是ハ醫療ニ對スル誠意ヲ缺クノデヤナイカト思フ

ノデアル、是ハドウモ保險經濟ガマズイカト云フ御議論ハ、一寸ドンナモノカト思フノデアリマスルガ、サウ云フコトハ十分餘裕ガアルコトト思フノデアリマシテ、是ハ清水サシノ方ガ能ク御承知ダト思ヒマスガ、ドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

○清水政府委員 只今ノ御話ハ先刻塚本サシニモ御答申上ゲタノデアリマスガ、保險經濟トシテ現在多少ノ餘裕ガ出來テ居ルノハ事實デアリマスガ、同時ニ醫療費ノ方面ニ於キマシテモ、マダ高イトカ安イトカ云フ點マデ調査研究致シマセスト、ハツキリ致サナイ點ガ色々アル譯デアリマス、隨テ一方家族給付等ヲ致スト致シマシテモ、一方ニ於テ醫療費ノ價額ト申シマスカ何ト申シマスカ、醫療費ノ適正ト云フコトニ付テハ、尙ホ研究ヲ要シマスノデ、隨テ一方ニヤルカラ片方モヤラナレバナラヌト云フ工合ニハ、マダ考ヘテ居ラヌノデアリマス

○中崎委員 清水政府委員ノ今ノ御話デアリマスガ、マダ分ツテ居ラヌト言ハレルケレドモ、ソレハ分ツテ居ラヌ筈ハナイノデアリマス、能ク事實ハ御調査ニナツテ居ル筈デアリマス、日本醫師會等ヨリモ、サウ云フ書類ハ相當提出シテアルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、併シ御分リニナラヌト云フナラバ仕方ガアリマセヌカラ、是ハ今自分デ調べタ書類ガアルケレドモ、將來十分ニ御考慮ヲ煩シタイト思フノデアリマス、ソレカラ是ハ一ツ大臣ガ聽イテ居ツテ戴イテ、清水サシカラ御答願ツテ宜シウゴザイマスガ、官公立病院ニ對シマシテ支拂フ額ト、ソレカラ一般ノ開業醫ニ對シテ支拂フ額トノ其ノ平均率ニ於テ、非常ナ違ヒガアルノデアリマス、斯ウ云フコトハ私ハヤハリ保險ノ醫療問題ニ對シテ、餘程當局ハ御考ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、過般私ガ請求致シマシテ清水政府委員ヨリ資料ヲ頂戴シタノデアリマスガ、其ノ數字ヲ申上ゲテ見ルト、官公立病院ノ一件當リノ醫療費ノ平均ガ八圓十何錢カニ當ツテ居ルノデアル、所ガ一般ノ開業醫ノ一件當リノ醫療費ハ二圓二三錢ニシカナツテ居ラナイ、約四分ノ一ニシカナツテ居ラヌ、斯ウ云フコトハ非常ニ醫療上ニ

差別問題が出テ來ルノデアツテ、之ヲ是正スルト云フコトハ當然デアルト思フノデアリマス、是マデ其ノヤウニ非常ナ差額が生ジテ來テ居ル理由ハ、一體ドウ云フ風ニ政府ハ考ヘテ居ルカ、清水サンカラ御答ヲ願ツテ見タイト思ヒマス

○清水政府委員 其ノ點ハ吾々モ承知致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ必ズシモ官公立ノ病院ニ拂フ醫療費ガ高イトカ、醫師會方面ハ安イトカ云フ問題デハナイト考ヘテ居リマス、ソレハ所謂保險醫ノ方ニ參ル被保險者ハ、一寸シタ病氣デモ掛レルノデアリマスカラ、サウ云フ一寸シタモノノ件數ガ多イノデアリマス、併シ官公立ノ病院ニ參リマス場合ニハ、大體ニ於テ普通ノ保險醫ノ場合ヨリモ病氣ガ重イト云フ關係ガアル譯デアリマシテ、殊ニ入院トカ大キナ手術等ガアリマスノデ、隨テ一件當リノ平均ノ醫療費ガ高イ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○中崎委員 只今ノ清水サンノ御答辯ハ非常ニマズイデハナイカト思フ、ナゼカト云フト、官公立病院ニ行ク患者ハ重イカラ、隨テ其ノ費用ガ多クナル、ソレカラ官公立ノ病院ノ患者ノ數ト私立病院、私立大學等ニ於テヤツテ居ル患者ノ數ト、ドウ云フ違

ヒガアルカト云ヘバ、寧ロ私立大學トカ、地方ニ於テモ立派ナ病院ヲ持ツテ居ツテ、相當重病ナ患者ガ入ツテ居ルノハ事實デアリマス、官公立病院デナケレバ重病患者ガ入ラスト云フコトハナイ、私ハ其ノ事實ヲ申上ゲマス、ソレハ斯ウ云フ所ニアルト思フ、詰リ政府ガ官公立病院ノ方ニ拂フ金ハ、

公官立病院カラ請求シテ來ル診療費ニ對シテハ査定ヲシテ居ラナイデ、請求スルダケ拂ツテ居ル、一般ノ方ノ日本醫師會ヘ支拂フ金ハ、是ハ日本醫師會自身ガ御承知ノ通り非常ナ査定ヲ受ケル、サウ云フコトニ依ツテ、一人當リノ醫療費ト云フモノハ非常ニ低下スル、患者ノ數ハ馬鹿ニ多イ、多イカラ、ソレニ請求シテ來タ通りヤツタノデハ、醫者ノ藥代ト云フモノハ一劑一錢ニナルカ五厘ニナルカ分ラヌ、ソコデ仕方ガナイカラ政府ト醫師會ガ御相談ノ上デ査定ヲヤル、其ノ結果今ノヤウナコトニナツテ、僅ニ十二三錢平均ヲ保ツテ居ル、サウシテ今申シタヤウナ一件ニ付テ二圓二十三錢ト云フ數字ガ現レテ居ル、官公立ハサウデハナイ、請求シタダケ政府ハ拂ツテ居ル、少シモ査定ヲシナイ、若シ之ヲ査定スルコトニナツタナラバ、斯ウ云フ開キハ出來ナイト思フ、今ノ清水サンノ御答辯ハ事實ヲ御承知ニナ

ラナイナラ仕方アリマセスケレドモ、御承知ニナツテ居ツテ、立場上仕方ガナイカラサウ云フ答辯デ胡麻化シテ居ルデハナйкаト云フコトヲ、甚ダ失禮デアルケレドモ考ヘルノデアリマス、將來政府トシテ官公立病院ニ支拂フモノハ無査定デ以テ、請求サレル儘ニ支拂ツテヤルト云フナラバ、ソレ程デナクテモ宜イケレドモ、ヤハリ日本醫師會ニ支拂フベキ金モ相當ニ御考ニナラナイト、片方ハ八圓以上、片方ハ二圓幾ラト云フコトデハ、到底醫療經濟ノ圓滿ナル遂行ハ出來ナイト思フ、醫者ガ不平ヲ言フノハ無理ガナイ、好イ加減ナ醫療ヲスルヨリ仕方ガナクナツテ、先程塚本君ノ御話ノヤウナ問題モ出テ來ル、是ハ仕方ガナイ成行ト思フ、理窟ハ拔キニシテ實際問題トシテ本當ニ被保險者モ喜ビ、醫者モドウヤラソレデ食ツテ行ケルヤウニシナケレバ、是カラノ醫者ハ保險醫ヲヤラナケレバナラヌカラ、醫者ヲ廢メルヨリ外仕方ガナイ、何年カ過ギタ後ニハサウ云フ時代ニナリマスヨ、ソレニモ拘ラズ今政府ノ固執シテ居ルヤウニ、何デモ彼デモ今ノヤウナ金シカ支拂ハヌト云フコトニナツタナラバドウスルカ、將來ノ國家ノ衛生上ノ問題ニ付テ、私ハ非常ニ心配ナコトガ起ルト思フ、此ノ

點ニ付テ大臣ハ何カ良イ御考ガアリマスカドウカ、御漏シヨ願ヒタイ

○廣瀨國務大臣 此ノ問題ハ將來ノ日本ノ衛生竝ニ醫師ニ關スル重大ナ問題デアリマス、能ク慎重ニ調査モシ研究モシテ見タイト思ツテ居リマス

○山崎委員 將來御研究ト云フコトデアリマスカラ、絶對ニ當局ノ御言葉ハ信頼スル、併シ近イ内ニ日本醫師會ト政府ト協定ヲセネバナラヌ健康保險ノ問題等モアルカノヤウニ承知シテ居リマスガ、此ノ問題等モ一ツ大イニ織込シテ政府ノ方デモ御熟考ヲ願フコトガ、私ハ宜シイノデハナイカト思フ、併シドウシテモ是ガ出來ヌト云フコトニナルト、私共モ——私ハ土屋サンノ御意見トハ少シ途方違フカモ知レヌケレドモ、ヤハリ私ハ相當ニ起ツテ叫バナケレバナラヌ時代ガ必ズ來ルト思フト云フコトダケハ申上ゲテ置キマス

○眞鍋委員長 山崎常吉君
○山崎委員 私ハ厚生大臣ニ御聽シタイトヒマス、大體健康保險ニ對スル問題ニ付テハ色々聽キタイト思ヒマスガ、専門家デアロオ醫者サン、又私共ト同立場ニ居ラレマス塚本委員カラ、色々ノ方面ニ付テ御質問ガアリマシテ、非常ニ參考ニナリマシタ、ソ

レデ私ハ國民ノ保健衛生ニ關スル將來ノ問題ヲ總括的ニ御聽キシテ見タイト考ヘルノデアリマス、過日來各委員ノ方々カラ技術的ノ方面或ハ施行上ノ問題等、色々爲ニナル御話ヲ承リ、非常ニ參考ニナリマシタガ、何レヲ聽イテ居リマシテモ、結局斯様ナ進ミ方デハ國民ノ保健衛生ノ終局ノ目的ガ達セラレナイノデハナイカト云フヤウナコトヲ考ヘルノデゴザイマス、何トシテモ國民ノ保健衛生ヲ完全ニ獲得スルニハ、醫療國營ト云フヤウナ方面ニ進ンデ行カナケレバナラスト思ヒマス、現在ノ開業醫ノ制度、其ノ他藥種商或ハ藥劑師等、之ニ付テ色々考ヘマス、最近ハ御醫者サンノ方面デモ博士號ヲ振廻シテ自己宣傳ヲヤツテ居ル、是モ商賣デアルカラ已ムヲ得ナイデアリマセウ、ソレカラ議會デモ詰ラス藥ヲ誇大廣告ヲシテ非常ニ國民ニ迷惑ヲ掛ケ、搾ツテ居ルト云フコトガ屢々問題トナリマシタガ、斯様ナ總テノ害ヲ除イテ、完全ニ國民ノ保健衛生ヲ保ツニ付テハ、何トシテモ醫療國營ノ方面ニ進ンデ行カナケレバイカヌノデハナイカト云フト云フコトヲ考ヘマスガ、此ノ點ノ將來ニ付テ厚生大臣ハドウ云フヤウナ御意見ヲ持ツテ居ラレカト云フコトヲ、先ヅ最初ニ御伺致シマス

○廣瀨國務大臣 醫療ノ問題ニ付キマシテ國營ニ關スル當局ノ意見ヲ御質シデアリマスガ、私ハ現在ノ醫療ガ必ズシモ宜イトハ思ツテ居リマセヌ、併シナガラヤハリ自由開業ト云フコトニモ非常ニ良イ點ガアルト思ヒマスガ、唯自由開業バカリデモイカスト思ヒマス、ヤハリ醫療ニ付テハ或ル程度ノ公ノ性質ヲ加味スルト云フコトガ、段々行ハレテ行クベキモノデハナイカ、併シ自ラモノニハ限度ガアル、國營ト云フヤウナコトモ一ツノ行キ方デアリマセウガ、之ニハ又是ノ害モアリマス、デアリマスカラ私ハヤハリ自由開業モ認め、又同時ニ醫療ニ關スル公ノ性質ヲモ、尙ホ加ヘテ行クト云フコトヲ自分ノ考ト致シテ居リマス、此ノ問題ニ付テハ醫療制度調査會ナルモノガアリマシテ、色々此ノ問題ノ研究ヲ致シテ居リマス、其ノ研究ノ結果ヲ聽キマシテ尙ホ對策ヲ立テタイト思ツテ居リマス

○山崎委員 御話ノ點ハ一應分リマシタ、將來ハ只今申上ゲマシタヤウナ工合ニ、總テノ弊害ヲ是正シテ國民ノ保健衛生ヲ全カラシメルト云フ意味カラハ、聽テハ醫療國營、醫療國營ト云フヤウナ工合ニ御進ミ下サランコトヲ希望スル次第デゴザイマス、此ノ問題ニ付キマシテハ專門家デナイ關係

上、餘リ詳シク論ズルコトヲ措キマス、次ニ厚生省ハ總テ我國ノ人ノ問題ヲ、是カラ扱ツテ行カウトスルノデアリマスカラ、人ノ問題ニ付キマシテ過日來各委員會デ御目ニ掛ル度ニ、一應御質問ハ致シマシタケレドモ、マダ私ノ満足ヲ得ル程度ニ達シマセヌ、ソレデ私ハ此ノ場合人ノ問題ニ對スル厚生大臣ノ將來ノ覺悟ト確信ニ付テ、一應御伺シタイト考ヘマス、再三申上ゲマシタ如クニ、我國ノ將來ニ付テ人カ物カト云フ問題ヲ考ヘマス時ニ、物モ大切デアリマセウケレドモ、物ハ人ガアルガ爲ノ物デアル、人ガ根本ニナラナケレバイケナイニモ拘ラズ、餘リニ物ノ問題ガ高ク叫バレマシテ、人ノ問題ガソレニクツ付イテ居ルト云フコトハ、何トシテモ此ノ度ノ議會ヲ通ジテ否定ガ出來ナイノデハナイカト思ヒマス、又當局モサウ云フヤウナ御考ヲ持ツテ居ラレルト云フコトガ伺ハレルガ、其ノ御考ヲ早ク改メテ戴カナケレバナラスト云フコトヲ考ヘマス、其ノ小サイ一例ヲ申上ゲマスナラバ、物的資源ト云フコトガ高ク昂揚サレマシテ、ソレニ並行シテ人的資源ト云フコトガ附加ヘラレテ居リマス、私ハ物的資源ニ對スル人的資源ノ標語ヲ附加ヘルノデハナクシテ、物的資源ト云フ表現ナリ、語

源ナリヲ改メテ貫ハナケレバイカスト云フ考ヲ持ツテ居リマス、是ハ過日モ此ノ席上デ一寸申上ゲタノデアリマスガ、少クトモ人ガ先ニナルトスレバ、人的資源デハナクシテ、人力擴充、人力確保ト云フ呼び方ヲシナケレバナラストデハナイカト云フコトヲ一應考ヘマス、元來厚生省ハ物ノ問題デハナク、人ノ問題ヲ扱ツテ行カレルノデアリマス、其ノ他ノ方面デハ物ヲ擴充スル爲ニ人ガソレニ附イナ行クト云フヤウナ建前ニナツテ居リマスケレドモ、現在ノ我國デ一番大切ナ役目ヲ掌ツテ居ルノハ厚生省デアル、人ノ問題デアル、人ヲ中心ニ考ヘ、其ノ人ノ體位ヲ向上サセヨウ、人ノ保險衛生ヲ保ツテ行カウト云フ點カラ厚生省ハ重大ナ役目ニ就イテ居リマスケレドモ、其ノ豫算面ヲ見マスナラバ、實ニ遠慮ノミシテ居ルト云フコトヲ考ヘザルヲ得ナイ、當局ノ御答辯ヲ聽イテ居リマシテモ、豫算ノ關係ガ脇ノ方ノ振合ヒダ、或ハ又脇ノ方トノ均衡ダト云フヤウナ御答ガ、速記録ノ所々ニ出テ居ル、特ニ甚シイノハ、過日ノ職員保險法ノ討議ガ爲サレタ時ニ、厚生省ガ語ツテ居ラレル所ノ一節ヲ見マスト——是ハ小サイヤウデアリマスケレドモ、大變大キナ問題デアルト考ヘマス、中崎委員ノ質問

デアリマスガ、是ハ過日モ土屋委員カラ御質問ガアリマシタ混砂米ノ問題デアリマス、厚生大臣ハ混砂米ノ問題ニ付テハ害アリト認メテ思ル、デアルガ爲ニ是ハ徐々ニ廢止ヲシテ行ク、無砂搗或ハ胚芽米ト云フヤウナ方面ヲ積極的ニ奨メテ行ク、混砂ノ方法ニ對シマシテハ、一時ニ之ヲ禁止スルコトハ全國的ニ産業者ニ色々ナ關係ヲ及ボス、是ハ砂ノ製造業者ニ對スル所ノ失業ノ問題トカ、色々ナコトニ關係スルノダト述ベラレタ意味デアルト推察致シマスガ、併シナガラ米ニ砂ヲ混ゼテ搗クト云フコトガ、ソナニ害ガアルト云フコトヲ國務大臣デアル厚生大臣ガ認メテ居ラレルナラバ、此ノ砂ノ製造人が多少失職者ガ出來ヤウトモ、此ノ問題ハ國民保健衛生ノ點カラ、體位向上ノ點カラ斷乎トシテ禁ズベキモノデハナイカト私ハ痛切ニ感ズルノデゴザイマス、ニモ拘ラズ産業者トノ色々ナ關係ガアルカラ、一時ニ之ヲ廢止スルコトハ出來ナイト云フヤウナ御答辯ヲナサツテ居リマスガ、之ニ對スル所ノ厚生大臣ノ御考、又只今申上デマシタ所ノ點ニ對スル御答ヲ一應願ヒタイト考ヘマス

○廣瀨國務大臣 混砂米ニ關スル私ノ考ハ、既ニモウ中崎サンニ御答シタ通りデアリマ

ス、少シモ變リガアリマセス、唯ソコデ今山崎サンカラノ人力涵養ト申シマスカ、大和民族ノ向上發展ト申シマスカ、之ニ對スル御激勵ノ辭ニ對シマシテハ洵ニ御同感デアリマシテ、自分ノ省ガ今一生懸命ニ當ツテ居ルノハ、何トカシテ我ガ民族ノ發展ヲ期シテ行カナケレバナラス、サウシテ本當ニヤハリ東亞ノ盟主トシテ我國ガ立ツテ行カウト云フニハ、大イニ立派ナ國民ヲ澤山ニ造ツテ行カナケレバナラス、之ニ對シテ有ユル方法ヲ執リタイト思ツテ居リマス、議會ニ於テモ一ツ是非此ノ方面ニ付テ一段ト激勵シテ戴キタイ、私共モ國民ニ懇ヘタイ、ヤハリ國民ノ中樞ハ民ノ力ニアリマスノデ、之ニ對シテハ出來ルダケノ力ヲ注イデ行キタイト思ヒマス、現在ノ厚生省ノ豫算モ期スル所ハ皆ソレニ向ツテ居ル譯デアリマス、併シマダ不十分デアルトハ思ヒマスガ、私ハ其ノ方面ニ對シテハ一ツ有ユル努力ヲ拂ツテ進ミタイト思ツテ居リマス

○眞鍋委員長 山崎君ニ御諒解ヲ得マスガ、高木君ハ議事ヲ進行スル爲ニ通告シテ居ラレタノヲ拋棄サレタノデアリマスガ、一寸アナタノ質問ニ關聯シテ三分間バカリ質問シタイト云フコトデアリマス、アナタニハソレダケ又時間ヲ差上ゲマスカラ、三分間

ダケ御譲リ願ヒマス——高木君

○高木委員 山崎君ノ質問ニ關聯シタコトデゴザイマスガ、私モ一般國民ノ健康向上ニ關スルコトデ質問致シタイト思ヒマス、極ク簡單ニ申上ゲマス、既ニ物ニ付テ、或ハ精神ニ付テハ國家總動員、精神總動員ガ行ハレテ居ルノデアリマス、惟フニ國民ノ健康總動員ト云フヤウナコトガ最モ必要デハナイカ、ソレカラ日本ノ國民ガ大陸ニ向ツテ活動シ、或ハ大洋ニ向ツテ活動スルニハ、體位ノ向上ト云フコトヲ一層考ヘナケレバナラス、是ガ最モ大切ナコトデアルト考ヘテ居ル者デアリマス、是等ニ對シマシテ厚生大臣ハ如何ナル御考ガアルカ伺ヒタイノデアリマス、次ニハ農林省等デモ生産ヲ増進スルト云フノデ、食糧品等ノ増産計畫モ色々ナサツテ居ルヤウデ、豫算ニモ出テ居リマスガ、日本人ハ米トオ香物——茶漬ガアレバ足ルト云フ考ハ間違ヒデアル、ソレダケデハ國民ノ健康ハ保テヌト云フコトヲ、或ル時代ニ或ル博士ガ論文デ言ツテ居ル、果シテ此ノ營養食糧ハ何處カラ持ツテ來テ、國民ノ健康ヲ保持シテ行カレル御覺悟デアルカ、伺ヒタイノデアリマス唯米ト大根ダケデハ迎モイカヌヤウニ思ヒマスガ是等ニ付テノ御考ヲ承リマス

○廣瀨國務大臣 國民ノ體位ヲ向上セシムルコトニ付キマシテハ、色々ナ方法ヲ執ツテ居リマス、結局ヤハリ國民ノ生活ガ安定ヲシテ、サウシテ其ノ生活自體ガ改善サレルコト、此ノ爲ニハ或ハ衣食住ニ付テノ改善モ圖ラナケレバナリマセス、尙ホ其ノ外ニ色々ナコトガ行ハレナケレバナラスト思ツテ、厚生省ハ是等ニ付テ皆力ヲ入レテ居リマス、ソレカラ營養問題ニ付テノ御質問デアリマスガ、是ハ御尤デアリマシテ、營養問題ニ付キマシテハ、私共モ餘程改善ヲシ、又宣傳モシナケレバナラスト思ツテ居リマス、營養ニ付テハ營養研究所ガアリマシテ、日本人ノ營養ニ關スル研究ヲ致シテ、一通リノモノハ持ツテ居リマス、併シテ、是ハマダ國民ニ能ク徹底セズ、津々浦々マデ是ガ行ツテ居ラス、之ニ付テハ將來尙ホ研究モシナケレバナリマセスガ、モツト國民ノ營養ニ關スル考ヘ方ヲ普及セシメヨウ、斯ウ云フ風ニ從來モ色々ヤツテ居リマスガ、尙ホ一段ト此ノ方面ニモ力ヲ入レタイト考ヘテ居リマス

○高木委員 今大臣ノ御話デハ、營養研究所ニ於テモ相當研究サレテ居ルト云フコトデアリマスガ、私ノ研究シテ居ル所ニ依リマスレバ、米ノ増産モ必要デアリマスケレ

ドモ、榮養食糧ヲ攝レバ、現在食ベテ居ル米ヲ減ズルコトが出来ル、之ニ付テノ細カイ數字モ持つテ居リマスケレドモ、是ハ御承知ノコトト思ヒマスカラ省略致シマス、増産ヲ圖ルト共ニ米ヲ減ズルコトガ宜イノデハナイカ、サウシテ體位ノ向上ヲ圖ルコトガ必要ダト思フノデアリマスガ、之ニ付テドウ云フ御考ヲ持つテ居ラレカ伺ヒタイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 私マダ其處マデ詳シク調査ノ結果ヲ聞イテ居リマセヌガ、尙ホソレ等ニ付キマシテハ、係ノ者ヲシテ十分ニ研究サセテ見タイト思ツテ居リマス

○山崎委員 國民ノ體位向上ノ問題ニ付テハ色々御聽キシタイト思ヒマスガ、與ヘラレタ時間ガ短イノデ極ク簡潔ニ御同致シマス、厚生大臣ハ本議會ガ開會セラレテ以來奮闘努力、人ノ問題ニ付キマシテ色々御檢討下サイマスコトハ私共議員ノ一員ト致シマシテ厚ク感謝ヲ捧ゲル次第デゴザイマス、併シナガラ厚生大臣ガ如何ニ御奮闘下サイマシテモ、我國一億萬ノ國民ノ體位向上ヲ圖ルト云フ點ニ付キマシテハ、失禮ナル言ヒ分デアリマスケレドモ、餘リ荷ガ重過ギルト思ヒマス、特ニ平時ト違ツテ事變下ノ今日ニ於キマシテハ、有ニル方面ニ御働

キ下サラナケレバナナイト云フ點、是ハ非常ニ大キナ問題デゴザイマス、先程カラ申上ゲマス如クニ物ノ問題ヨリ人ノ問題、大東亞ノ建設ト云フ點カラ考ヘマス時ニハ、大キナ問題デアリマス、色々爲サナケレバナラス仕事ガゴザイマス、大體現在ノ國民健康保持或ハ體位ノ低下ノ防止、ソレカラ生メヨ殖ヤセヨノ問題、非常ニ大キナ問題ガ幾ツモ幾ツモ課セラレテ居リマス、是ガ全部現在ノ厚生省ノ機構ノ中デ完璧ヲ期スルコトが出来ラダラウカ、勿論完璧ヲ期スルコトが出来ナイト云フ工合ニ私ハ考ヘマス、其ノ御努力ハ感謝致シマスガ、先ヅ私ハ此ノ場合國民ノ體位向上、國民ノ體位低下ノ防止、ソレカラ國民ノ増殖、生産減少ノ低下ノ問題、是等ノ方法ヲ講ジマスノニハ、是ハドレモ是モ現在ノ國情カラ考ヘマシテ緊急ナル問題デアリマスケレドモ、之ヲ全部一時ニヤルト云フコトハ、到庭出來ナイコトデアリマスガ爲ニ、先ヅ第一著手、第二著手、第三著手ト云フヤウナ工合ニ、段階ヲ分ケテ進ム必要ガアリハセヌカ、先ヅ第一ニハ國民體位ノ低下ト云フ問題ニ付キマシテハ、工場地帯ニ於テ殊ニ體位ノ低下ガ目ニ見エテ著シイノデアリマス、急角度ニ國民ノ體位ガ低下シテ居ル、先ヅ之ヲ第

一段階トシテ、防備ノ方法ヲ講ジナケレバナラスデアリマセウ、生産ノ擴充ニモ缺クベカラザルコトデアリマセウシ、又戦線ニ是カラ送ラナケレバナラス將兵ノ體位維持ニ付テモ、當面ノ一番緊急ノ問題トシテ完璧ヲ期セネバナラスト思ヒマス、次ニ此ノ度提案セラレテ居リマスヤウニ、國民全體ニ對スル健康ノ保持、是モ最モ大切ナコトデアリマセウ、次ニハ之ヲ取上ゲナケレバナナイト考ヘマス、第三番目ト致シマスレバ、今ノ生メヨ殖セヨ、殖スニハ一體ドウ云フ方策ヲ立デテ進マナケレバナナイカト云フヤウニ、私ハ一段階、二段階、三段階ト段階ヲ付ケテ進ムベキデハナイカト素人考ニ考ヘマスガ、此ノ點ニ付キマシテ厚生大臣ハ如何ナル御考ヲ持つテ居ラレカ、御聽シタイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 御話ノヤウニ、工場鑛山ノ衛生方面ニ付テモ力ヲ入レナケレバナラスト云フコトハ、是モ一生懸命ニ力ヲ入レテ居リマス、其ノ他御話ノ點ニ付テハ、ソレレカ力ヲ入レテ居リマス、唯ヤハリ社會ハ有機的ノ一體デアリマスカラ、此ノ部分ヲ先ヅヤツテ、サウシテ他ノモノハ後ト云フ譯ニモ參リマセヌ、各方面ニ互ツテ力ヲ入レテ居リマス、尤モ今御話ニナツタヤ

ウナ所ニ付テハ、是ハ重要ナル點デアリマスカラ、現在モ相當ナコトヲ致シテ居リマスガ、尙ホ一段ト力ヲ入レテ進ミタイト思ツテ居リマス

○山崎委員 厚生大臣モ御共鳴下サイマス如クニ、此ノ問題ハ全體ニ付テ萬全ヲ期セナケレバイケマセヌケレドモ、力ノ及ビ範圍デ力以上ノコトヲヤラウトスレバ、結局全體ガ好結果ニ進ムコトニナラナイト云フコトハ、篤ト御承知ノコトト思ヒマス、先ヅ第一番ニ完璧ヲ期セナケレバナラスノハドレカ、第二番目ニハドレカ、第三番目ニハドレカト云フヤウナ工合ニ、段階ヲ立テテ御進ミ下サラシコトヲ希望スル次第デアリマス、サウシテ最後ニ簡單ニ御尋致シマス——簡單ナル問題デゴザイマセヌケレドモ、時間ガゴザイマセヌカラ簡單ニ御尋致シマスガ、要ハ此ノ労働問題ニ致シマシテモ、労働者ノ體位ノ低下、健康ノ保持、衛生ノ完備ト云フヤウナ問題、是ハ賃銀ヲ多ク與ヘタガ爲ニソレガ完璧ヲ期セラレルモノデハゴザイマセヌ、少クトモ第一線ノ將兵ハ勿論ノコト、労働者、一般國民モ此ノ國難ニ處シテ本當ニ御奉公シヨウト、固イ決意ヲ持つテ居リマス、持つテ居ルガ何處カ知ラスガ此ノ決意ヲ案ス者ガアル、是ガ

精神上ニ受ケル所ノ打撃ハ實ニ大キイノデ
アリマス、ソコデ私ハ賃銀ヲ多ク與ヘテ云
云ト云フヤウナコトデナクシテ、此ノ問題
ニ付キマシテハ今厚生省ヲ中心ニシテ政府
筋、或ハ民間ノ各方面ノ方々ガ寄り集リマ
シテ、研究ヲナサツテ居リマス、併シ其ノ
研究タルヤドウモ雲ノ上ノ研究ノヤウナ感
ジガシテ仕様ガナイ、少クトモサウ云フ問
題コソ實際ニ研究シヨウトスレバ、年ガラ
年中靴ノ裏ニ土ノ附カナイ人バカリノ集リ
デナクシテ、眞ニ泥靴デ、護謨靴デ、或ハ草
鞋穿キデ手ニ胼胝ヲ拵ヘテ居ル諸君モ交ヘ
テ、君達ノ健康ヲ保持スルニハドウヤツタ
ラ宜イカ住ム所ハドウカ、食物ハドウカ、著
ル物ニ不自由ラシハシナイカト云フヤウナ點
ニ至ルマデ、直接ノ方面カラ聽イテ研究ヲ進
メテ行カナケレバ、完璧等期スルコトハ出來マセ
ス、私ハ斯ウ云フ方面ヲ將來厚生省ニ十分氣
ヲ附ケテ戴カナケレバナラスト思ヒマス、一昨
日カノ新聞ヲ見マスレバ、勞働者家庭ノ内
儀サシ達ニ日日ノ生活上ノ教育ヲスル爲ニ
色々ナ有名ナ婦人達ガ寄ツテ居ル、羽仁モ
ト子トカ奥ムメヲ或ハ夏目テルトカ色々ス
ウ云フヤウナ文士ノ連中ガ寄ツテ研究シテ
居ル、其ノ意見ノ中ニ婦人ガ國ノ爲ニ働ケ
ト云フヤウナ工合ノ呼掛ケ方ハドウモビツ

タリ婦人ニ來ナイ爲ニ、是カラ先婦人ニ呼
掛ケルニハ婦人ガ大體個人的ノ問題ヲ考ヘ
ル爲ニ、斯ウ云フ呼掛ケ方デナクシテ、「貯
金ハ身ノ爲家ノ爲」ト云フヤウナ呼掛ケ方ヲ
セヨト云フヤウナ工合ニ、厚生省ガ中心ト
ナツテヤツテ居リマスガ、是ハ即チ勞働婦
人ヲ侮辱シタヤリ方デアル、勞働婦人タリ
トモ國ノ爲ヲ眞向ニ考ヘテ居リマス、自分
ノ身ノ振ヲ考ヘテ居ハシナイノデアリマス、
此處ニ書イテアルモノハ、文士ノ婦人達デ
ス、斯ウ云フヤウナコトヲ厚生省ガ取上ゲ
タノハ國民ヲ侮辱スル所以デアル、大體斯
ウ云フヤウナコトニナルガ爲ニ、今申上ゲ
タヤウナ工合ニ泥靴ヲ穿キ草鞋ヲ穿イテ手
ニ胼胝ヲ序ヘテ居ル勞働者或ハ勤勞婦人、
斯ウ云フヤウナ人達ヲ呼ンデ、大イニ之ヲ
將來研究シテ進ンデ行カナケレバナラスト
云フヤウニ考ヘマス、之ニ對スル所ノ厚生
大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○廣瀨國務大臣 山崎君ノ御意見ノ次第能
ク拜聽シマシテ參酌シテ能ク考ヘマス
○泉委員長 本案ニ對スル質問ハ是ニテ打切
ラレンコトノ動議ヲ提出致シマス
○眞鍋委員長 御諮リ致シマス、泉君ヨリ
質疑終了ノ動議ガ出マシタ、御異議ゴザイ
マセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○眞鍋委員長 御異議ナシト認メマス、ソ
レデハ是デ質疑ヲ打切り、二時ニ再會致シ
マス、暫ク休憩致シマス
午後一時一分休憩
午後二時三十分開議
○眞鍋委員長 ソレデハ休憩前ニ引續キ會
議ヲ開キマス、是ヨリ討論ニ入リマス
中崎俊秀君
○中崎委員 私ハ立憲民政黨ヲ代表致シマ
シテ、本案ニ賛成スルト共ニ、簡單ニ其ノ
理由ヲ申上ゲル次第デアリマス、本法ノ改
正ニ付キマシテハ、政府提出ノ此ノ儘ニ於
キマシテハ、私共ハ決シテ之ヲ以テ満足ス
ルモノデハナイノデアリマス、此ノ點ニ付
キマシテハ政府當局ニ於キマシテモ、此ノ
委員會ニ於ケル同僚カラノ色々ノ質問等ニ
依ツテ、能ク御察知ノ出來ルコト存ジマ
ス、第一ニ此ノ健康保險法ノ實施以來、醫
療給付ノ問題ニ付テハ、色々ノ實際ニ即シ
テ面白カラザル問題ガ多アルノデアリマ
ス、政府ハ將來斯ウ云フコトニ付キマシテ
モ、醫療經濟ノ確立ト云フヤウナコトニモ
十分注意ヲ拂ハレテ、保險醫モ被保險者モ
共ニ満足シ、不安ノナイヤウニ取計ラツテ
戴キタイ、若シ機會ガアリマシタナラバ、

又シテモ之ヲ改正スルト云フコトニ、ドウ
ゾ御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、
次ニハ是等ノ醫療問題ヲ先ヅ以テ圓滑ニス
ルノニハ、ヤハリ醫療材料ノ支給ト云フコ
トニ付テ、十分ニ御考ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス、是等ノ材料ノ支給ガ圓滑ニ參
リマセヌリト、ヤハリ醫療ノ運用ガ圓滑ニ
參ラヌト云フコトニナルノデアリマス、現
在ノ如ク醫療材料ノ暴騰ニ對シテハ、相當
政府ノ御考ヲ煩サナケレバナラスト存ジマ
ス、尙ホ最後ニ私ハ申上ゲタイノデアリマ
スルガ、過般來我黨ノ土屋君ニ依ツテ高調
セラレマシタ診療簿査閱ノ問題デアリマス
ガ、是等ハ土屋君ノ申シマスル所洵ニ眞理
ハアルト思フノデアリマス、唯私共此ノ期
間ガ洵ニ短イ時ニ於テ、此ノ問題ヲ十分ニ
政府ノ諒得ヲ得ラレテ、サウシテ解決スル
ト云フコトハ困難デアルト云フ爲ニ、私共ハヤ
ハリ一ツノ希望ヲ持ツテ居ル次第デアリマス
カラシテ、是等ニ對シテモ政府ハ唯徒ニ理窟
ニバカリコダハラズ、吾々ノ言フ所モ大イニ
參酌セラレテ、將來此ノ問題ヲ圓滿ニ解決ス
ルヤウナ御方針ヲ持ツテ臨マレルコトヲ偏ニ
希望スルノデアリマス、是ハ深クハ理窟ヲ申上
ゲマセヌ、唯政治的ニ之ヲ解決スルト云フ
コトガ、ヤハリ生キタル政治ヲ運用スルト

云フコトニナルノデ、決シテオ互ガ理窟ヲ以テノミ臨ムベキデハナイト私ハ存ジテ居リマス、ドウゾサウ云フ機會ヲ與ヘラレンコトヲ切ニ希望致シマス、其ノ他一切ノコトハ今日マデノ委員會ノ質疑等ニ依リマシテ、御承知ノコトト思ヒマス、其ノ質疑ノ要點ニ付キマシテ政府ニ十分ニ考慮ヲ拂ツテ戴クコトヲ希望致シマシテ、本案ニ賛成スル者デアリマス

○眞鍋委員長 小串清一君

○小串委員 私ハ立憲政友會ヲ代表致シマシテ、此ノ法案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、簡單ニ其ノ理由ヲ申上ゲマスガ、本案ハ既ニ大正十一年ニ法律トシテ施行セラレテカラ、三回ノ改正ヲ經テ十分試驗濟デアリマス、今回ソレ等ノ試驗濟ノ結果、更ニ政府ガ之ニ對シテ適當ナル改正ヲ加ヘヨウトシテ御提出ニナツタノガ、此ノ案デアリマス、此ノ社會立法ニ依リマシテ民間ノ土木事業、鐵道工事、其ノ他工場、鑛山等ニ働ク人々ノ生活ノ安定ヲ期スル爲ニ、多大ノ寄與ヲシテ居ルコトハ國民ノ皆認ムル所デアリマスガ、既ニ二千萬圓餘ノ積立金モ出來タ此ノ際、更ニ其ノ範圍ヲ擴大致シマシテ、國民ノ利用厚生ニ役立タシムルト云フコトハ當然ノコトデアリマス、即チ

今回新ニ當議場ヲ通過シテ居ル職員健康保險法、船員保險法ノ發布ト共ニ、此ノ兩法トノ連絡ヲ保ツベキ色々ナ意味ニ於テ改正ヲ施サレ、被保險者ト同一ノ世帯ニアル家族等ノ疾病、負傷及ビ分娩等ノ療養費ヲモ給付スルコトナリ、又第四十七條ニ於テ負傷疾病ノ給付日數百八十日デアツタノヲ一年ニ擴大ヲサレマシタ、併シ此ノ擴大ハ特殊ノモノニ限ラレテ居ルヤウデアリマスガ、實際ノ場合ヤハリ適當ニ是モ考慮シテ貫ヘルコトト思フノデアリマス、其ノ他事務簡捷ヲ圖ラレタリ色々致シテ、此ノ案ガ今マデノ案ヲ餘程實際ニ適スルヤウニ改メラレタコトニ付テ、私共大イニ政府ノ努力ニ敬意ヲ拂フ者デアリマス、サリナガラサウ云フ社會事業ニ對スル我國ノ施設ハ洵ニ貧弱デアリマシテ、即チ今回ノ之ヲ以テ決シテ満足スルコトガ出來ナイ、只今中崎委員ノ御説明ノヤウナ次第デ、當議場ニ於テモ各委員ノ方々カラ色々御意見ガ出デ居リマス、政府ハ更ニ百尺竿頭一步ヲ進メテ、來ルベキ機會ニハ是等民間ノ要望ヲ十分檢討セラレテ、是ノ完璧ヲ期セラレタイ、即チ政府ノ言フ所ノ漸進主義ヲ遺憾ナク發揮シテ、サウシテ國民ヲ満足セシムルヤウニ御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、次

ニ只今中崎委員ヨリモ御話ガアリマシタガ、此ノ保險實施ニ當ツテ診療ノ秘密ヲ保ツト云フ問題ガ、當議場ニ土屋委員其ノ他カラ非常ニ喧シク論議セラレタノデアリマスガ、ソレニ對シマシテ先刻大臣ヨリ御答ガアリマシタ、ソレヲ一遍復誦致シマスガ、「診療録査閲ノ問題ニ付キマシテハ、先ニ御答申シタ通りデアリマスガ、査閲ノコトハ極メテ慎重ヲ要スルコトデアリマスノデ、是ガ執行ニ當リマシテハ醫師法ノ精神ヲ尊重シテ、今後トモ一層注意致シタイト存ジマス、尙ホ今日マデ實際上秘密洩漏ノ弊害ヲ生ジタコトハアリマセスガ、適當ノ時期ニハ秘密保護ニ關スル規定、罰則ヲ設クルヤウニ致シタイト存ジマス」ト云フ御答辯ガアツタノデアリマス、以上ノ大臣ノ言明ノ御趣旨ハ洵ニ結構デアリマシテ、ドウカ之ヲ實施スルニ當ツテハ、此ノ種ノ類似立法、即チ健康保險法、母子保護法、救護法、國民健康保險法並ニ今回制定セラルベキ職員健康保險法、船員保險法等ニ付テハ、醫師ヲシテ診療録以外ニ診療ノ秘密ニ涉ラズンデ、唯診療投藥等ノ事實ダケヲ知ルヤウナコトノ出來ル記録ヲ作ラセルヤウナ方法等ノ適當ノ處置ヲ執ラレンコトヲ政府ニ要望致シマシテ、此ノ案ニ賛成ノ意ヲ表スル次

第デアリマス

○眞鍋委員長 永山忠則君

○永山委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表シマシテ本案ニ賛成スル者デゴザイマス、本案ガ一步漸進主義デアルト云フ點ニ於キマシテ、速ニ本院通過ヲ熱望スル者デアリマスガ、併シ此ノ際政府ニ強ク要望シテ置キタイ點ガアルノデアリマス、即チ此ノ健康保險實施ニ當リマシテ特ニ重大ナル點ハ、第一ニ醫療内容ガ低下セザルコト、第二ニ被保險者ガ其ノ希望スル診療機關ヲ自由ニ選擇シ得ルコトデアルト思フノデアリマス、政府ハ此ノ二點ニ關シマシテハ、既ニ國民健康保險實施ニ當リマシテハ、昭和十三年七月四日付通牒社發第七百二號ニ於テ「國民健康保險ノ診療組織決定ノ要件」トシテ地方廳ニ通牒サレテ居ルノデアリマス、此ノ趣旨ハ勿論健康保險實施ニ當リマシテモ尊重スベキデアルトハ言フ俟チマセス、且ツ當局ノ十分認メテ居ラレルコトデアルト思フノデアリマス、然ルニ現在ノ實情ハ正ニ逆デアリマシテ、保險醫ハ藥價一點單價十二三錢ハ思カ、峻嚴ナル査定ノ結果ハ七八錢以下ニ壓縮セラレテ居ルコトモアリ、入院ノ際ニハ實費ニモ引合ハザルヤウナ場合ガ多アルノデアリマス、其ノ結果ハ近

時健康保險創始當時進シテ保險醫トナツタ
知名ノ醫師ガ、保險醫辭退ヲ爲シツアル
狀態デアリマス、又昨年診療内容ノ向上ヲ
條件ニ、人工氣胸術及ビ光線深部治療費ト
シテ二十万圓ヲ政府ヨリ日本醫師會ニ増額
支出ヲ約セラレタノデアリマスガ、漸ク二
三万圓ノ使用ヲ見タルニ過ギナイノデアリ
マス、少シ統計ガ古イノデアリマスガ、昭
和九年度健康保險事業要覽、内務省社會局
保險部編纂ニ依リマス、醫師總數ガ五万
三千三百七十六人ニ對シマシテ、健康保險
醫三万一千七百八十三人ニ過ギナイノデア
リマス、尙ホ社會局保險部醫務課ノ最近ノ
調査ニ依リマス、全國道府縣中三百九十
三町村ニ在住ノ被保險者一万八千七十九名
ニ對シマシテ、其ノ町村内ニハ五百二十二
名ノ開業醫アルニ拘リマセズ、保險醫一名
モナイコトガ發表サレテ居ルノデアリマス、
斯ノ如キ狀況ニモ拘リマセズ、日本醫師會
ハ全國非醫師經營診療所ノ醫師ヲ保險醫ト
シテ指定スルコトニハ、極メテ消極的デア
リマシテ、現ニ醫療組合加入中ノ四万ノ被
保險者ガ——組合員家族中ノ被保險者數ハ
約二十万デアリマスガ、多年自ラノ信頼ス
ル醫療組合ノ診療ヲ受ケントスル熱烈ナル
要望ヲ、蹂躪スルノ結果トナツテ居ルノデ

アリマス、之ヲ例證致シマセバ、内務省ノ
調査ニ依リマス、全國非醫師經營診療總
數ガ千六百八十七箇所アリマスガ、之ニ對
シマシテ日本醫師會ノ調査デハ保險醫ニ指
定サレテ居ルモノガ百六十五シカナイノデ
アリマス、僅ニ其ノ一割足ラズデアリマス、
政府ハ之ニ對シマシテ昭和十一年十月日
本醫師會トノ間ニ非醫師ノ經營スル診療機
關ノ醫師ヲ保險醫ニ指定スル場合ノ標準ト
シテ、三項ヲ協定シテ居ルノデアリマス、
即チ其ノ三項ヲ申上ゲマス、第一ニ其ノ
地方ニ保險醫ナキ場合又ハ保險醫不足ニシ
テ診療上支障アリト認メタル場合、二、其
ノ地方ニ專門醫タル保險醫ナキ場合又ハ是
等ノ保險醫不足シテ診療上支障アリト認メ
タル場合、三、其ノ地方ニ入院設備若クハ
「レントゲン」設備ヲ有スル保險醫ナキ場合
又ハ是等ノ設備ヲ有スル保險醫不足シテ診
療上支障アリト認メタル場合デアリマス、
併シ此ノ協定内容ヲ見マスルノニ、何
處ニ被保險者ノ醫師選擇ノ自由ヲ護ル努力
ガアルカト申上ゲタイノデアリマス、單ニ
其ノ地方ニ保險醫ガアルカ、ナイカ、設備
ガ十分カ不十分カト云フ點ニノミ捉ハレ
テ、被保險者ノ自由選擇意思ヲ顧ミラレテ
居ナイノデアリマス、而モ此ノ協定スラ締

結後既ニ二十箇年以上ヲ經過シテ居ルノデ
アリマスガ、實行ハ遅々トシテ進捗シナイ
ノデアリマス、最モ問題トナツテ居リマス
秋田縣能代港町、山本郡醫療購買利用組合
ノ例ヲ申シマシテモ、本組合ハ組合員數八
千七百五十人、内被保險者一千一百一人デア
リマシテ、而モ能代町ノ總被保險者千四百
人中、千百人マデ醫療組合ニ加入シテ居リ
マシテ、郡内開業醫數三十二名ニ對シマシ
テ、本組合醫師十二名、組合病院本院ハ醫
師六名ノ完全ナル近代の綜合病院設備其ノ
他分院六箇所ヲ有シテ居ルノデアリマス
ガ、僅ニ被保險者一、二名シカ居住セザル
村ノ同組合診療所二箇所ニノミ保險醫ヲ指
定シテ居ルニ過ギナイノデアリマス、其ノ
他之ニ類スル事例ハ實ニ多數アルノデアリ
マシテ、私ハ茲ニ相當多數ノ組合病院ガ、三箇
條ノ不當ナル條件ニサヘモ適合シテ居ルニ
モ拘ラズ、指定ヲ受ケズ、非常ニ被保險者ガ
嘆キ呻ツテ居ル調査報告書ヲ持ツテ居リマ
スガ、時間ノ關係上之ヲ省略致シマス、私
ハ組合病院指定ニハ極メテ不利ナル三箇條
件ノ下ニ、政府ハ日本醫師會ト協定ヲ三箇
年前ニ締結サレテ居ルニモ拘リマセズ、其
ノ協定サヘモ十分實行サレザル政府ノ無責
任ヲ痛憤スル者デアリマス、故ニ此ノ場合

特ニ前申上ゲマシタ點ヲ綜合シテ、要約シ
タルモノヲ申シマスレバ、第一ニ被保險者
ガ其ノ希望スル診療機關ヲ自由ニ選擇シ得
ル爲ニ、全國何レノ醫師ヲモ健康保險醫ト
シテ指定ヲ爲シ、且ツ其ノ義務ヲ負擔セシ
ムルコトデアリマス、特ニ即時政府ノ實行
爲サルベキコトハ、現ニ醫療組合加入中ノ
被保險者ノ熱烈ナル要望ヲ充タス爲ニ、政
府ハ直接全國醫療利用組合ト診療契約ヲ爲
スベキコトデアリマス、第二ハ健康保險ハ
既ニ十餘年モ經過シテ居ルノデアリマスカ
ラ、保險經營ノ基礎モ科學的ニ十分研究サ
レテ居ルト思フノデアリマス、然ルニ今回
マデ其ノ保險經營ノ危險負擔ヲ、保除者タ
ル政府自ラ負フコトナク、日本醫師會ニ僅
ニ一人當リ七圓五十錢ニテ請負ハセテ、其
ノ危險ヲ一切醫師會ニ轉嫁シテ居ル事實
ハ、餘リニモ政府ハ無責任デアリ、狡イヤ
リ方デアリマス、醫師會ニ僅ノ金ニテ請負
ハセルト云フ不合理ガ、結局被保險者ニモ
保險醫師ニモ多クノ不利ヲ與ヘテ、何
時マデ經ツテモ健康保險診療ガ、明朗ヲ缺
ク所以デアリマス、政府ハ將來請負制ヲ全
廢シ、保險者タル政府ニ於テ保險經營ノ危
險負擔ヲ致スベキデアルト思フノデアリマ
ス、右政府ニ強ク警告シテ本案ニ贊成スル

者デアリマス

○眞鍋委員長 塚本重藏君

○塚本委員 私ハ本健康保險法ノ改正案ニ對シマシテハ、雙手ヲ舉ゲテ賛成スル者デアリマス、蓋シ今日ノ被保險者四百十數萬ノ勞働者、竝ニ其ノ家族千數萬人ノ待望久シカリシ改正案デアルコトヲ以チマシテ、欣快ニ堪ヘナイモノデアリマス、併シナガラ曩ニモ申上ゲマシタヤウニ、實ハ是等多數ノ被保險者及ビ其ノ世帯員ガ待望シテ居リマシタ所ノ改正案トハ、大凡間隔ノ甚シイモノデアリマシテ、希望ノ餘リニ大デアツタ反面ニ、失望モ亦甚ダ大キイモノガアルノデアリマス、併シ政府ハ屢ノ答辯ニ依リマシテ、漸次是ガ改善發達ニ努力スルノ意ヲ表明セラレテ居ルコトヲ以テ諒トシ、將來益々努力セラレンコトヲ御願スル次第デアリマス、私ハ質問モ中途ニ致シマシテ、本案ヲ早ク貴族院ニ送付スル爲ニ、質疑ヲ打切ルコトニ贊成シタノデアリマスガ、其ノ事ノ爲ニ被保險者トシテノ聲ヲ十分ニ徹底セシムルコトノ出來ナカツタコトハ、甚ダ遺憾ニ考ヘルノデアリマスガ、是モ時間的ニ已ムヲ得ザルコトデアアルノデアリマスガ、此ノ際數點ノ希望ヲ述ベテ、政府ノ將來ノ善處ヲ望シテ置ク次第デアリマス、第一ニハ、適用ノ

範圍擴張ノ問題デアリマスガ、幸ニ被保險者ノ世帯員ニマデ及ンダノデアリマスケレドモ、曩ニモ申上ゲマシタヤウニ職員健康保險、船員保險等ニモ加入シ得ズ、更ニ又國民健康保險ヲモ組織シ得ナイ所ノ人々ガ、相當澤山殘サレテ居ルノデアリマスカラ、是等ノ人々ヲシテ何レカノ保險ニ早ク入り得ルヤウニ、努力シテ戴キタイノデアリマス、ソレカラ第二ノ點ハ、醫療給付ニ付テハ完全ナ治療ヲ爲シ得ルヤウニ、醫療内容ヲ改善シテ戴キタイノデアリマス、今日ノ療養ト云フモノガ決シテ完全ナモノデナイコトハ、各方面カラ既ニ指摘セラレタ所デアリマスカラ、政府ハ之ヲ以テ満足スルコトナク、其ノ内容ノ改善ニ大イニ努力シテ戴キタイノデアリマス、第三ノ點ハ、今永山委員カラモ述ベラレタ所デアリマスガ、被保險者ト致シマシテハ總テノ醫者、總テノ醫療機關ヲ自由ニ選擇シ、自由ニ利用出來ルヤウナ狀態ニシテ戴キタイト云フコトガ、被保險者トシテノ念願デアリマス、隨ヒマシテ此ノ點ニ付キマシテモ政府ハ將來十分ノ留意ノ上ニ、努力シテ戴キタイノデアリマス、具體的ニ申上ゲマスレバ、今農村方面ニ於キマスル實情ニ付テ、永山氏カラ述ベラレタノデアリマスガ、都會ニ於キ

マシテモ例ヘバ東京ニ於キマシテハ、友愛病院ト云フヤウナモノガアリマスカラ、大阪ニ於キマシテハ社民病院、大衆病院、大衆診療所ト云フヤウナモノモアル譯デアリマスカラ、是等ノモノハ特ニ斯ウ云フ方面ノ診療ニハ、十分ノ經驗ヲ持ツテ居ル譯デアリマスカラ、是等ヲ利用セラレルヤウニ御願シテ已マナイノデアリマス

更ニ被保險者トシテノ希望ハ、此ノ本法ノ中ニアリマス給與ノ中ノ埋葬料デアリマスガ、之ヲ少クトモ今日ノ倍額位ニ引上ゲテ貰ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ私ハ質問ガ此ノ點ニマデ及ビマセスデシタガ、最後ニ事務ノ簡捷改善ノ問題デアリマスガ、是ハ醫者ノ立場カラ言ヒマシテモ、非常ニ面倒ナ手數ヲ今日ノ現行法デハ要シテ居ルノデアリマスカラ、之ニハ多分ニ改善ヲ加ヘル餘地ガアルノデアリマス、更ニ之ヲ被保險者ノ立場カラ申シマシテモ、例ヘバ傷病手當金ヲ請求致シマシテモ、大體普通三箇月位掛ラナケレバ本人ノ手許ニ其ノ傷病手當金ガ支給セラレナイヤウナ今日ノ現狀デアリマシテ、是ハ屢々此ノ事ヲヤカマシク言ツテ居ルノデアリマシテ、幾ラカ良クナツタトハ申シナガラ、尙ホ吾々カラ見マス、ドウモ

満足スルコトノ出來ナイ狀態デアリマス、少シ話ガ細カクナルヤウデアリマスケレドモ、私ハ此ノ點ヲ甚ダ遺憾ニ思ヒマシテ、私ガ大阪ノ府會ニ出テ居リマスル時ニ、實ハ傷病手當金ノ立替業ト云フモノヲ考ヘマシテ、サウシテ或ル老人ニ失業救済ノ意味モアリマスノデ、大阪府ニ交渉シテ、舊大阪府廳デアリマシタ江ノ子島ノ健康保險署ノ前ニ事務所ヲ設ケサセマシテ、是等ノ傷病手當金ノ一時立替ヲヤラシタコトガアリマシタガ、是ハ非常ニ被保險者カラモ喜バレタノデアリマス、三箇月モ四箇月モシナケレバ手當金ガ貰ヘナイ、サウシテ手當金ヲ請求スルノニ色々ト難カシイ面倒ノ手續ガアリマシテ、ソレガ完了シナケレバ貰ヘナイ、而モ工場ニ働イテ居ル者ハ、主トシテ是ハ家族ニ任カシテ居ルノデアリマスガ、家族ハ一層サウ云フコトニ慣レナイモノデアリマスカラドウモ皆ク手續ガ完了シナイト云フヤウナコト等モアリマシテ、中々手當金ガ速ニ手ニ入ラスノデアリマス、ソコデ私ノ世話ヲ致シマシタモノガ其處ニ机一ツ置イテ事務ヲ執リマシテ、兎ニ角親切ニ損ノナイヤウニ世話ヲシ、注意シ、萬端ノ面倒ヲ見テヤリマシテ、サウシテ手當金ヲ一時立替テヤルト云フヤウナコトヲ致シマシタ、是

ハ手数料ニ致シマシテモ電車賃ノ片道位ノ料金デ以テ之ヲヤルノデアリマスカラ、被保險者ト致シマシテハ非常ニ喜ンダノデアリマスカ、其ノ事ガ聞及ビマスルト段々惡イ傾向ニナリマシテ、此ノ頃ハサウ云フ業者ガ殖エテ參リマシテ、此ノ手数料ト云フモノヲ相當高額ニ引上ゲテ居ルト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、是等ハ健康保險組合ニ附隨シマスル所ノ事務ノ煩瑣ト云フヤウナコトカラ、來テ居ル現ハレデアリマスカラ、斯ウ云フ點ニ付キマシテモ十分ニ改善ヲ加ヘラレテ、サウ云フモノノナイヤウニ、直グニ誰デモ簡單ニ手續ガ出來テ、右カラ左ニ手當金ガ渡サレルヤウナ方法ニ、改メテ貰ハナケレバナラスノデアリマス、サウシテ諄々申上ゲマシタヤウニ、是等ノ健康保險ノ改善ヲ圖リマスノニハ、何ト申シマシテモ金ガ先決ノ問題デアリマス、今僅ニ現行法ニ依ツテ規定セラレテ居ル範圍ニ於テ保險料ヲ徵收シ、其ノ範圍ニ於テ、此ノ醫療ヲ遂行シテ行クノデアリマスカラ、結局ソコニ色々無理ガ生ジ、色々ナ方面ニ思ハシカラス結果ヲ招イテ居ルノデアリマス、之ニハドウ致シマシテモ、今ノ儘デハ金ガ足ラナイト云フコトガ、根本ノ問題ニナツテ居ルト思フノデアリマス、其ノ上

ニ今度ハ其ノ被保險者ノ世帯ノ人マデ、主トシテハ入院致シマシタ者ニ對シマシテ、半額ノ給付ヲ爲スト云フコトニナツタノデアリマスガ、政府ハ是等ニ對シマシテモ其ノ國庫ノ負擔金ヲ増額スルコトナク、唯餘裕アル範圍内ニ於テ此ノ試ミヲ爲サレタノデアリマスガ、其ノ結果ハ一層診療ノ低下ヲ來スト云フヤウナ憂モアルノデアリマスカラ、此ノ點ハ篤ト深イ戒心ヲ加ヘテ貰ハナケレバナラスノデアリマス、要スルニサウ云フ醫療ノ低下ヲ防止シ、更ニ進シテ保險ノ目的ヲ完全ニ遂行シマスニハ、今ノ政府ノ唯事務費ヲ被保險者一人當リ二圓ノ範圍内ニ於テ、國庫ガ負擔スルト云フヤウナ建前ヲ何時マデモ執ツテ居ラレタノデハ、根本的ナ改正ハ行ハレナイト考ヘマス、此ノ根本ニ一ツ改正ヲ加ヘラレテ、政府ハ今ノ規定ヲ改正セラレテ、モツト積極的ニ國庫ノ負擔金ヲ増額スル、サウシテ徹底シタ醫療ガ行ハレルヤウニ改善ヲ加ヘラレルトガ、根本的ニ必要デアルト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、尙ホ其ノ點ニ付テ一言申上ゲテ置キマスガ、昭和十四年度ノ健康保險ノ豫算ヲ見マシテモ、被保險者ノ増加ニ從ツテ其ノ費用ガ増シテ來ル、斯ウ云フ風ニ説明ニハ書イテアリマスケレドモ、

實際ノ豫算ヲ見マスト、歳入ノ中ニ於テ保險料ノ收入ハ十三年度ノ三千五百二十四万七千餘圓ニ較ベテ、十四年度ハ四千四百八十八萬餘圓ニ殖エテ居ル、是ハ勿論被保險者ノ増加ニ從ヒマスル増收デアリマス、併シ之ニ對スル政府ノ所謂國庫負擔金ハ、十三年度ノ百七十三萬圓カラ十四年度ニ於テハ百七十一萬圓ト云フ風ニ却テ減額セラレテアリマス、是ハ政府ノ説明トハ全ク正反對ノ結果デアツテ、被保險者ガ益、増加シテ來テ、ソレニ伴フ政府ノ支出ハ多クナラナケレバナラスノデアリマスガ、特別會計ニ於ケル健康保險ノ會計ノ限リニ於テハ、被保險者ガ増加シテ來ルニ拘ラズ國庫ノ負擔金ハ却テ減額セラレテ、其ノ結果ト致シマシテ十四年度ノ保險料收入ト云フモノハ、四千四百八十六千餘圓デアリマスルガ、此ノ内保險給付トシテ使ハレル所ノ金ハ三千七百四十四千餘圓デアリマシテ、差引三百四十四万二千餘圓ト云フモノハ、被保險者並ニ事業主ガ負擔シマシタ所ノ保險料收入ト云フモノガ、事務費ノ中ニ繰込マレテ居ルト云フヤウナ結果ニナツテ居リマシテ、政府ハ事務費ノ全般ヲモ負擔シテ居ラナイト云フ結果ニナツテ居ルノハ甚ダ遺憾ニ存ジマス、斯ウ云フヤウナ消極的ナコトデハナシニ、折角世

帶ニマデ療養ノ手ヲ差伸ベル意思ヲ、政府ハ持ツテ居ラレル位デアリマスカラ、國庫ノ負擔金ト云フモノヲ増額スルト云フコトガ、根本的ニ必要デアルト云フコトヲ私ハ申上ゲテ、將來其ノ點ニ向ツテ努力セラレンコトヲ御願スル次第デアリマス、要スルニ私ハ左記ノ希望事項ヲ附シテ贊成スル者デアリマス

- 一 政府ハ更ニ適用ノ範圍ノ擴張ニ努メラレタシ
- 一 療養ノ給付ニ付テハ完全治療ヲ爲シ得ルヤウ改善セラレタシ
- 一 總テノ醫者、總テノ醫療機關ヲシテ被保險者ニ利用セシメ、醫師ノ選擇ヲシテ自由ナラシムルヤウニ努力セラレタシ
- 一 埋葬料ヲ増加セラレンコトヲ望ム
- 一 事務ノ簡捷改善ヲ圖リ、傷病手當金等ノ支給ヲ迅速ニ行フヤウ努メラレタシ
- 一 政府ハ國庫負擔金ノ増額ヲ行ヒ保險目的ノ完全遂行ヲ期セラレンコトヲ望ム

以上ノ希望ヲ附シテ贊成スル次第デアリマス

○眞鍋委員長 道家齊一郎君

○道家委員 私ハ只今議題トナリマシタ改正案ニ對シテ、第二控室ヲ代表シテ贊意ヲ

表スル者デアリマス、但シ此ノ際ニ二三ノ希望ヲ附シテ置キマス、今回ノ改正案ハ、從來ノ保險給付ガ被保險者本人ニ限定セラレタモノヲ改メテ、家族ニマデ適用セラレルニ至ツタコトハ一進歩デアリマス、併シナガラノヲ任意ノ規定ニシマシテ、各健康保險組合ノ任意ノ規定改正ニ放任シタト云フコトハ、其ノ目的ヲ達スル所以デハナイ、斯ノ如ク放任スルナラバ僅ニ大嶺山、若クハ大工場ノ如キ組合ノ外ハ、恐ラク之ヲ實施スルコトハ困難デアラウ、本改正ノ目的ガ醫療費ノ負擔ノ重壓ニ苦シム所ノ家族ヲ救済セントスルニアル以上ハ、寧ロ之ヲ強制規定トシナケレバナライ、政府ハ各健康保險組合ヲシテ強制的ニ補給金ヲ支給セシメテ、由ツテ生ズル所ノ組合ノ財政ノ上ノ負擔ニ對シテモ、國庫ノ負擔金ノ設定、若クハ極メテ少額ノ保險料ノ徴收ニ依ツテ、之ヲ補フベキダト思フノデアリマス、私ハ政府ガ最近ノ機會ニ於キマシテ、速ニ改正セラレンコトヲ希望スル者デアリマス、第二ニ保險給付ノ期間ノ一部延長デアリマス、是ハ本改正ハ結核性患者ノ一般傷病ニ對スル健歸率ノ劣惡ナルコトヲ認メテ、之ヲ改正スルノデアリマス、一般ノ病者ニ付テハ約九八%ノ回歸率ヲ示シテ居リマス、ダカラ

先ヅ此ノ期間ハ妥當ナルモノト認メマス、結核ニ付テハ六〇%ノ回歸率、即チ回復シテ歸ル者ト死亡ヲ入レテ、六〇%シカ健歸シテ居リマセス、ソコデ之ヲ延長シタノデアリマスガ、之ヲ同ジク強制規定トシナイ爲ニ、其ノ目的ハ殆下達セラレナイと言ツテモ過言デハナイト思フノデアリマス、是モ亦速ニ財政ノ狀況ヲ見テ改革セラレンコトヲ希望致シマス、ソレカラ國庫負擔金ノ設定デアリマス、現行健康法ニ於テハ療養ノ給付、病院ノ收容、及ビ助産ノ手當ニ直接要シタ金額、竝ニ傷病手當金、出産手當金、分娩費、埋葬費、療養費等ノ支給額ノ合算額ヲ基礎トシテ、是等ノ被保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ一ヲ、國庫ガ負擔シテ居ルノデアリマスガ、今回ノ改正案ニ依リマスト家族ノ疾病ニ對スル補給金、竝ニ結核性疾患ニ對スル給與期間ノ延長、之ニ依ル給付金額ハ、共ニ前記ノ國庫負擔金ノ算定ノ基礎デアル所ノ、保險給付費用中ニ算入セラレテ居ナイノデアリマス、隨テ本改正案ニ依ツテ此ノ補給ヲスレバ、國庫負擔金ハ支給セラレナイカラ、多クノ保險組合ハ財政上破綻ノ虞ガアル、現在裕福ナ組合デアツテモ到底將來其ノ負擔ニ堪ヘナイノデアリマスカラ、恐ラク是ハ實施スルコト

ガ困難デアルト思フ、今千五百人ノ組合ヲ假定致シマシテ、從來ノ率ニ依ツテ計算致シマス、其ノ費用ハ約八萬圓ニ該當スルノデアリマス、是等ノ大キナ負擔ハ到底弱少ナル組合ニ於テハ、負擔スルコトガ出來ナイト思フノデアリマス、隨テ之ニ依ツテハ是等ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイヤウニ思フノデアリマス、次ニ、各委員カラモ述ベラレマシタガ醫師會トノ契約デアリマス、是ハ曩ニ私ハ職員健康保險法ノ討論ノ時ニ述ベタノデアリマス、是ガ十年ノ經驗ヲ經テ未ダニ解決セラレテ居ナイ、此ノ解決セラレナイト云フコトハ、保險ノ價値ニ關スルモノデアツテ、被保險者ノ今日最モ困ツテ居ルコトハ何デアルカト云フト、醫師ノ選定ノ自由ヲ得ナイ、ソレカラ或ル種ノモノニ於テハ期間ノ不足デアルト云フコトデアル、又一面ニ於テハ、僻ミモアルカモ知レマセスガ、醫者ガ好意ヲ以テ迎ヘテ呉レナイ、斯ウ云フコトハ非常ニ保險ノ徹底普及ニ支障ヲ生ジテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ醫師會ノ契約ノ金額モ相當ニ上ゲルシ、醫師トシテ社會道德、社會政策ヲ認識シテ、是等ニ共鳴スルヤウニ何等カノ處置ヲ即刻政府ハ執ラレンコトヲ希望スル者デアリマス、厚生大臣ハ先程モ研究ヲスル

ト云フコトヲ答辯シテ居ラレマシタガ、御研究モ必要トハ思ヒマスケレドモ、モウ研究ノ範圍ヲ超エタモノデアラウト思フ、解決ニ問題ハアルノダト思フノデアリマスカラ、其ノ解決ヲ速ニセラレンコトヲ希望スル者デアリマス、又他ノ委員カラモ述ベラレマシタガ、取扱ノ問題、是ハ私モ實際ニ健康保險ヲ取扱ツテ體驗スルノデアリマスガ、餘リニ複雑デアル、又他面ニ於テハ之ヲ濫用スル爲ニ、保險組合ハ相當ニ審査ヲ要スルノデアリマスガ、此ノ爲ニ要スル時間ト費用ハ決シテ少ナルモノデアリマセス、被保險者ハ之ガ爲ニ職ヲ休マナケレバ其ノ給付金ガ貰ヘナイト云フヤウナ現状ニアルノデアリマス、醫師ニ付テノ範圍ハ市内ニ於テハ漸次擴大サレマシタケレドモ、全國ニ付テ見ル時ニハ、未ダ醫師ハ全部健康保險組合ノ診療醫トナル程度ニ至ラナイノデアリマスガ、是ハ國ヲ舉ゲテ社會政策デナケレバナライノデアリマスカラ、醫師ニ其ノ認識ヲ何等カノ方法ヲ以テ認メサセルコトガ、目下ノ急務ダト思フノデアリマス、政府ハ何等カノ具體的方策ヲ立テテ善處セラレンコトヲ希望致シマス、以上ノ希望條件ヲ附シテ贊成致シマス

○眞鍋委員長 討論ハ是ニテ終結致シマシタ——採決ニ入ル前ニ私ヨリ一言御挨拶ヲ申上ゲタイト存ジマス、本委員會ニハ二案併託ニナリ、尙ホ又議員提出ノ法案ガ付託サレテ居リマスガ、其ノ間委員諸君ノ勵精熱心ナル態度ニ對シテ深キ敬意ヲ表スルト同時ニ、實ハ春風駘蕩、談笑ノ間ニ審議シタカツタノデアリマスガ、時ニ和氣霽々ト申シ兼ネルヤウナコトモアリマシタノハ、是ハ畢竟委員長ノ不徳ノ致ス所ト（ノーノー）甚ダ汗顔ニ堪ヘヌ次第デアリマス、次ニ診療録査閱ノ問題ニ關シマシテ、土屋君ヨリ熱心ナル御主張ガアリマシタガ、御承知ノ如ク今ヤ我國ハ東洋永遠平和ヘノ爲ニ、一本槍デ進マナケレバナラスノデアリマシテ、之ガ爲ニハ我ガ國民健康ノ保持、人的資源ノ培養ト云フノニハ、ドウシテモ醫師ト協調ヲ保タナケレバナラス、和親協力ト申シマスカ、兎ニ角一致團結致シマシテ、此ノ大家族主義ナル我國ノ國體ニ鑑ミマシテモ、和氣霽々ノ間ニ此ノ兩者協調ヲ保ツテ行カナケレバナラスノデアリマスカラ、單ニ醫者ト當事者ノ間ノミナラズ、政府ガ將來益、此ノ法案ノ運用ヲ期スルニ當リマシテハ、ドウカ春風駘蕩タル間ニ、而モ談笑ノ間ニ圓滿ニ益、進歩發達ヲ圖ラレ

マシテ、以テ最後ノ目的ヲ達セラレンコトヲ希望シテ置キマス——是ヨリ採決ニ入リマス、本案ニ贊成ノ方ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

○眞鍋委員長 起立總員、本案ハ滿場一致議決サレマシタ（拍手）尙ホ御付託ノ法案審議ノ日取ニ付キマシテハ、何レ理事諸君トモ協議ヲ致シマシテ、公報ヲ以テ御通知申上ゲタイト存ジマス、是ニテ散會致シマス

午後三時十三分散會

昭和十四年三月二十一日印刷

昭和十四年三月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局